

補償に関する提出書類様式集

提出書類一覧表

	書類の名称	様式 ページ	提出部数		提出期限	関係規程等	備考	
			正	副				
事前調査に関するもの	家屋調査を委託する調査会社届	5 1	1	3	工事着手日以前	仕様書		
	事前調査報告書	5 2	1		工事着手日以前	仕様書	事後報告時写真ネガ帳等提出する。	
	添付書類	事前調査一覧表						5 3
		事前調査箇所案内図						5 4
		家屋工作物現況図（事前）						5 5
		説明表（事前）						5 7
		写真帳						5 8
		事前調査一覧表(井戸)						5 9
		事前調査箇所案内図(井戸)						6 0
	井戸実態調書	6 1						
事後調査に関するもの	損害補償の処理計画書兼実施報告書	6 2	1		工事完了後 速やかに	仕様書	第1回目以降2か月ごとに報告する。	
	〇〇工事に起因する第三者損害の補償に関する協定書	63～64	2		工事完了後 速やかに	土木工事標準仕様書		
	損害認定及び補償費の負担等に関する協議の依頼について	66～68	1	1	事後調査完了後 3ヶ月以内	仕様書	事後調査報告書、損害調査報告書とともに提出する。3種類あり。	
	事後調査報告書	6 9	1	1	事後調査完了後 3ヶ月以内	仕様書		
	添付書類	〇〇〇〇工事による第三者損害について						7 0
		事後調査一覧表						7 1
	下水道工事完了に伴う家屋調査について等配布回収実施報告書 ※	7 2	1	1				
	工事完了後の家屋調査の回答書 ※	7 3	1	1				

		調査請求書兼補償請求書	74							
		書類の名称	様式 ページ	提出部数		提出期限	関係規程等	備考		
				正	副					
事後調査に関するもの	添付書類	事後調査箇所案内図	75	1	1	事後調査完了後 3ヶ月以内	仕様書	事後調査報告書の正は、協議書締結時に受注者に返還する。		
		施工説明書	76							
		家屋工作物現況図（事後）	81							
		説明表（事後）	83	1	1				事前・事後調査の写真ネガ帳等提出	
		写真帳	84							
	損害物件修理一覧表		85	1	1					
	損害物件修理箇所案内図		86	1	1					
	損害調査報告書		87	1	1					
	添付書類	損害調査一覧表							88	
		事後調査箇所案内図							75	
		損害調書	損害調書						89	
			工事内訳書						90	
			調査概要調書						91	
			修理図面						93	
損害調書（給水）			95							
給水工事内訳書			96							
損害補償に関するもの	第三者損害に対する補償費負担等に関する協議書		97	2		仕様書				
	添付書類	協議書別紙明細書		101	2					
		請求書（局負担分）		112	2					
	添付書類	請求内訳書		113						
		和解承諾書及び補償金請求書（口座振込みによる支払用）		102	2			必要部数だけ配布を受ける。 2部提出（受注者用）・東京都下水道局用）		
		口座振込依頼書		105	1		1	証拠書類の原本をともに提出		

	書類の名称		様式 ページ	提出部数		提出期限	関係規程等	備考
				正	副			
損害補償に関するもの	添付書類	和解承諾書及び補償金請求書 (現金による支払用)	106	2			仕様書	必要部数だけ配布を受ける。 2部提出(受注者用・東京都下水道局用)
		補償金領収書	109					証拠書類の原本をともに提出
	和解折衝報告書	114	1		協議書交換後 6ヶ月後 ※損害補償実務 P18を参照	第1回目以降3ヶ月ごとに提出		
	添付書類	未和解物件一覧				115	折衝時(電話対応を含む。)には必ず記録する。	
		折衝記録				128		

写真ネガを電子媒体で提出する場合は、土木工事標準仕様書「附則7 工事記録写真撮影要領」(最新版)の定めるところによること。

調査資料の電子納品を希望する場合は、当局へ相談の上、以下の書類を作成し提出する。

- ① 第三者損害に対する調査資料の電子納品(試行)に関する確認書
- ② 第三者損害に対する調査資料(CD-ROM)保管管理者届
- ③ 家屋調査を委託する調査会社届

補償に関する提出書類等様式作成上の注意事項

- 1 各様式にならって作成する。
- 2 各様式の色別表示は、意味が異なるので注意する。
 - (1) 黒は、変更せずに表示のとおり用いる。ただし、「家屋工作物現況図（事前・事後）」[P55～56、P81～82]、「修理図面」[P93～94]については、表示どおり使用するのではなく、個々の調査内容に合わせた図面を作成する。
 - (2) 赤は、記入例を表記してあるため、当該工事に合わせる。
 - (3) 青は、注意事項〔(注)と表記〕及び用紙サイズを示してあるため、表記しない。
- 3 提出後、訂正があった場合は誤記箇所二本線を引き正しく表記する。
また、様式の上部に訂正表示を明記し、押印する。

様式集目次

1 事前調査に関するもの

(1) 家屋調査を委託する調査会社届	51
(2) 事前調査報告書	52
(3) 事前調査一覧表	53
(4) 事前調査箇所案内図	54
(5) 家屋工作物現況図（事前）	55
(6) 説明表（事前）	57
(7) 写真帳	58
(8) 事前調査一覧表（井戸）	59
(9) 事前調査箇所案内図（井戸）	60
(10) 井戸実態調書	61

2 事後調査に関するもの

(1) 損害補償の処理計画書兼実施報告書	62
(2) 下水道工事完了に伴う家屋調査について	65
(3) 損害認定及び補償費の負担等に関する協議の依頼	
① 損害認定及び補償費の負担等に関する協議の依頼について	66
② 損害認定及び補償費の負担等に関する協議の依頼について （全件被害なしのとき）	67
③ 第三者損害に関する報告及び負担等に関する協議の依頼について （家屋調査を実施しなかったとき）	68
(4) 事後調査報告書	69
(5) ○○○○工事による第三者損害について	70
(6) 事後調査一覧表	71
(7) 下水道工事完了に伴う家屋調査について等配布回収実施報告書	72
(8) 工事完了後の家屋調査の回答書	73
(9) 調査請求書兼補償請求書	74
(10) 事後調査箇所案内図	75
(11) 施工説明書	
① 施工説明書（例1 開削工法）	76
② 施工説明書（例2 推進工法・シールド工法）	78
(12) 家屋工作物現況図（事後）	81
(13) 説明表（事後）	83
(14) 写真帳	84
(15) 損害物件修理一覧表	85
(16) 損害物件修理箇所案内図	86
(17) 損害調査報告書	87
(18) 損害調査一覧表	88
(19) 損害調書	89

(20) 工事内訳書	90
(21) 調査概要調書	91
(22) 修理図面	93
(23) 損害調書（給水）	95
(24) 給水工事内訳書	96

3 損害補償に関するもの

(1) 第三者損害に対する補償費負担等に関する協議書	97
(2) 同上の分割協議例（第1回）	98
(3) 同上の分割協議例（第2回）	99
(4) 同上の全件被害なし例	100
(5) 協議書別紙明細書	101
(6) 和解承諾書及び補償金請求書（口座振込みによる支払用） 「補償対象者用・受注者用・東京都下水道局提出用」3枚	102
(7) 口座振込依頼書	105
(8) 和解承諾書及び補償金請求書（現金による支払用） 「補償対象者用・受注者用・東京都下水道局提出用」3枚	106
(9) 補償金領収書（現金による支払用） 「補償対象者用・受注者用・東京都下水道局提出用」3枚	109
(10) 請求書（局負担分）	112
(11) 請求内訳書	113
(12) 和解折衝報告書	114
(13) 未和解物件一覧	115

4 その他

(1) 事前調査資料のない物件の損害調査について	116
(2) 補償対象者氏名・住所変更届	117
(3) 官公署等の現物補償に関するもの	
① 第三者損害の現物補償に関する協議書	118
② 協議書別紙明細書	119
③ 施工承認について	120
④ 補償工事完了届	121
⑤ 補償工事の完了に伴う引渡しについて	122
⑥ 受領書	123
(4) 下水道工事施工のお知らせ	124
(5) 下水道工事施工前の家屋調査のお知らせ	125
(6) 補償事務の流れ	126
(7) 工事後の連絡先のお知らせ	127
(8) 折衝記録	128

家屋調査を委託する調査会社届

○年○月○日

東京都下水道局
△△△事務所長 ○○○○ 殿

東京都新宿区西新宿二丁目9番1号
下水道建設株式会社
代表取締役社長 下水道雄 印

下記調査会社に調査を委託しましたのでお届けします。

工事番号	○○○○第○○○○号
工事件名	新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事
契約番号	○○下経契土第○○○号
契約年月日	○年○月○日
工期	契約締結の日の翌日から○○○日間
調査を委託する調査会社名	株式会社下水設計 連絡先 東京都新宿区西新宿二丁目6番1号 (○○○○) ○○○○
当社の補償事務担当者名	連絡先 江戸 一郎 東京都新宿区西新宿二丁目6番1号 (○○○○) ○○○○

(注)

- 1 事前調査打合せを行う前に工事監督員へ提出する。
- 2 調査会社及び補償事務担当者に変更があった場合は、その都度提出する。

(A4タテ)

○年
○○○○第○○○○号

事前調査報告書

(新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)

○年○月○日

東京都下水道局
△△△事務所長 ○○○○ 殿

下水道建設株式会社
現場代理人 甲野太郎

記

- 1 事前調査一覧表
- 2 事前調査箇所案内図
- 3 家屋工作物現況図 (事前)
- 4 説明表(事前)
- 5 写真帳
- 6 事前調査一覧表 (井戸)
- 7 井戸事前調査箇所案内図
- 8 井戸実態調書

(注)

- 1 事前調査写真ネガ帳 (A 4判、製本) は、調査一覧表、調査箇所案内図、家屋工作物現況図 (A 4判に縮小する) 及び説明表を添付して、事後調査の損害調査報告書と一括して提出する。
- 2 添付のない資料は記載しないで、以下の項目の番号を繰り上げる。
- 3 写真ネガを電子媒体で提出する場合は、土木工事標準仕様書「附則 7 工事記録写真撮影要領」(最新版) の定めるところによること。

(A 4 タテ)

事前調査一覧表

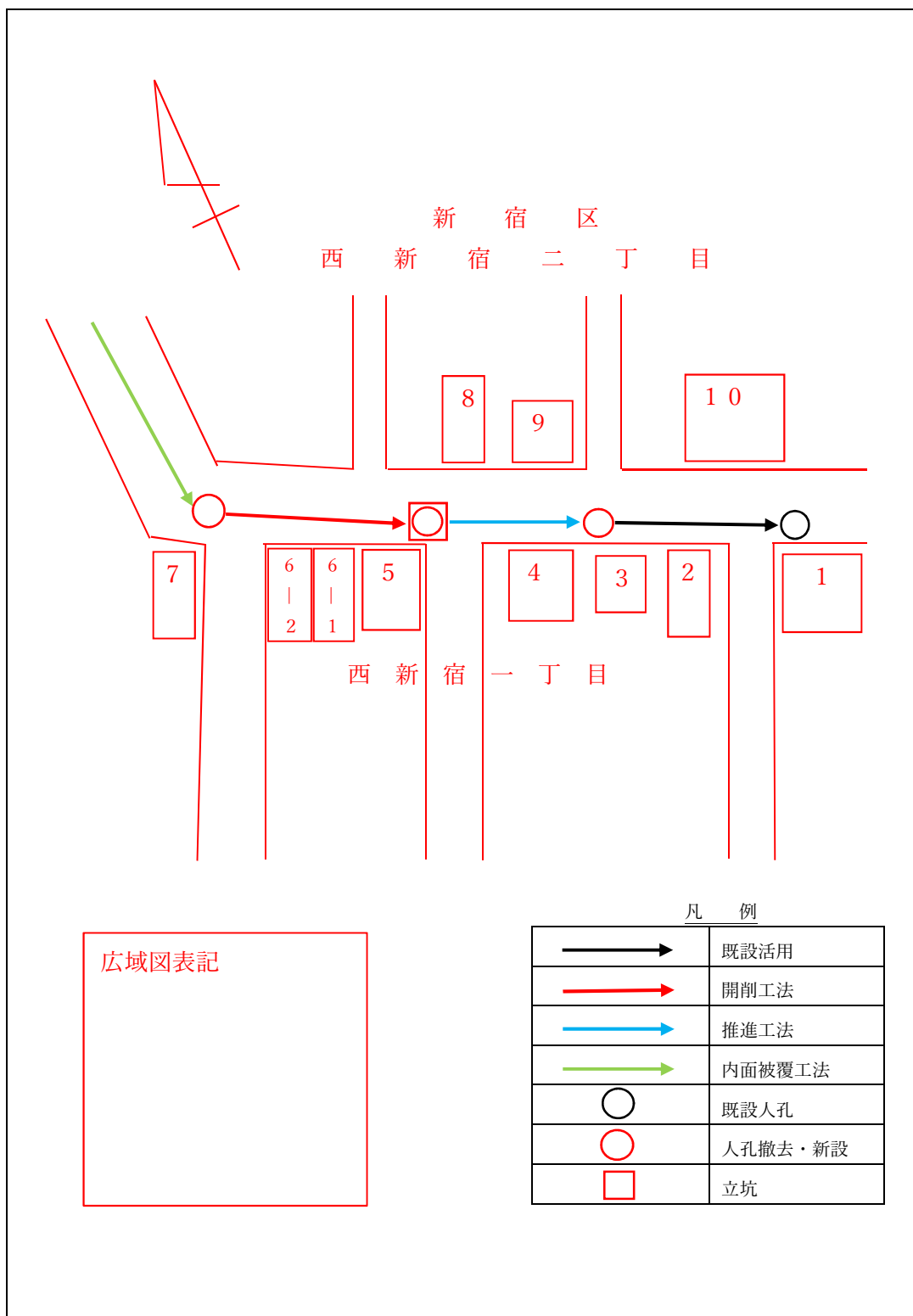
(新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)

整理 番号	物件所在地	所有者氏名 電話番号	使用者氏名 電話番号	用途種別	構造 延床面積	経過 年数
1	新宿区西新宿 一丁目1番1号	東京 太郎 (0000)0000	同 左 同 左	住 宅	木造2階建 153.16 m ²	7
2	新宿区西新宿 一丁目2番1号	下水工業株式会社 (0000)0000	下水 次郎 (0000)0000	店 舗 住 宅	木造平家建 102.00 m ²	12
3	新宿区西新宿 一丁目2番2号	新宿一郎・新宿二郎 (0000)0000	同 左 同 左	住 宅	木造2階建 53.24 m ²	10
4	新宿区西新宿 一丁目2番3号	日本太郎・日本花子 (0000)0000	同 左 同 左	住 宅	木造2階建 60.00 m ²	5
5	新宿区西新宿 一丁目3番1号	東京 次郎 (0000)0000	同 左 同 左	共同住宅	RC4階建 647.76 m ²	7
6-1	新宿区西新宿 一丁目3番2号	多摩 一男 000(000)0000	多摩 次男 (0000)0000	工 場	木造2階建 58.25 m ²	10
6-2	新宿区西新宿 一丁目3番3号	多摩 一男 000(000)0000	同 左 同 左	共同住宅	RC4階建 654.76 m ²	3
7	新宿区西新宿 一丁目4番1号	〇〇 △△ (0000)0000	同 左 同 左	住 宅	木造3階建 320.55 m ²	8
8	調査対象外	(解体済みのため)				
9	新宿区西新宿 二丁目7番8号	△△ □□□ 000(000)0000	□□ 〇〇 (0000)0000	共同住宅	RC4階建 874.66 m ²	7

(A4タテ)

事前調査箇所案内図

(新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)

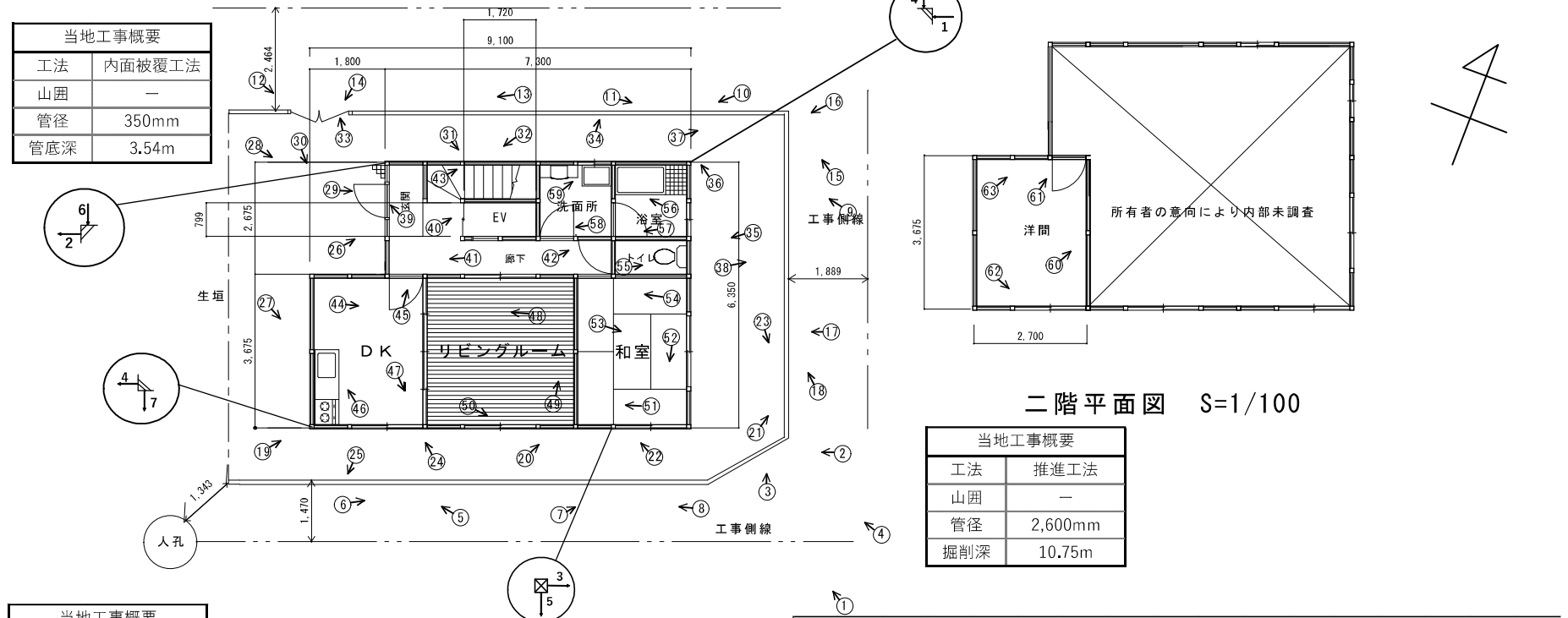


(注) 原則A4タテとし、A3ヨコも可。

家屋工作物現況図（事前）

整理番号	物件所有者	使用者	建築年月日	増築年月日	改装年月日	調査年月日	調査会社	調査員	立合者(注)
1	住所 新宿区西新宿1-1-1	住所 新宿区西新宿1-1-1	S62.10	H2.5	H20.12	事前	(株)下水道設計	玉石 石松	東京 太郎
	氏名 東京 太郎	氏名 東京 太郎				事後			
構造	木造、RC造、S造 ○階建 その他 ()	屋根	日本瓦、瓦棒鉄板葺、コロニアル葺 その他 ()	外壁	モルタル塗、サイディング その他 ()	基礎	布基礎、ベタ基礎 その他 ()	面積	1F 51.59㎡ 2F 9.92㎡ 3F - 延面積 61.51㎡

二階の一部、三階の事前調査は所有者の意向により内部未調査



当地工事概要	
工法	開削工法(人孔)
山囲	軽量鋼矢板
内径	1200mm
掘削深	2.45m

当地工事概要	
工法	開削工法
山囲	軽量鋼矢板
管径	250mm
掘削深	2.52m

レベル測定表 (単位:mm)																
測定箇所	段差	事前			事後			差	測定箇所	段差	事前			事後		
		測定値	補正値	相対値	測定値	補正値	相対値				測定値	補正値	相対値	測定値	補正値	相対値
一階																
A	0	925		0				A	0	930		0				
B	0	927		-2				B	0	931		-1				
C	-30	960	930	-5				C	0	940		-10				
D	-30	975	945	-20				D	0	941		-11				
E	0	940		-16												
F	-30	984	954	-29												
G	-30	980	950	-25												
二階																

(注) 立合者が、所有者・使用者ではない場合は、所有者との関係を明記する。

(A3ヨコ)

整理番号 1		説明表 (事前 ・ 事後)	
写真 説明	撮影箇所	測定値	損傷概要
1	全景	事前 ----- 事後	
2	1階和室	事前 W=2 mm、L=50 cm ----- 事後	内壁亀裂
3	浴室	事前 ----- 事後	壁タイル現況
4	土間	事前 W=2 mm、L=100 cm ----- 事後	亀裂
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	

- (注) 1 各写真の説明については、調査項目、調査資料を参考の上、記入する。
2 計測の単位は幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。
(A 4 タテ)

事前調査写真

1 写真番号

全 景

事前調査写真

2

1階和室
内壁亀裂

事前調査写真

3

浴 室
壁タイル現況

(A4タテ)

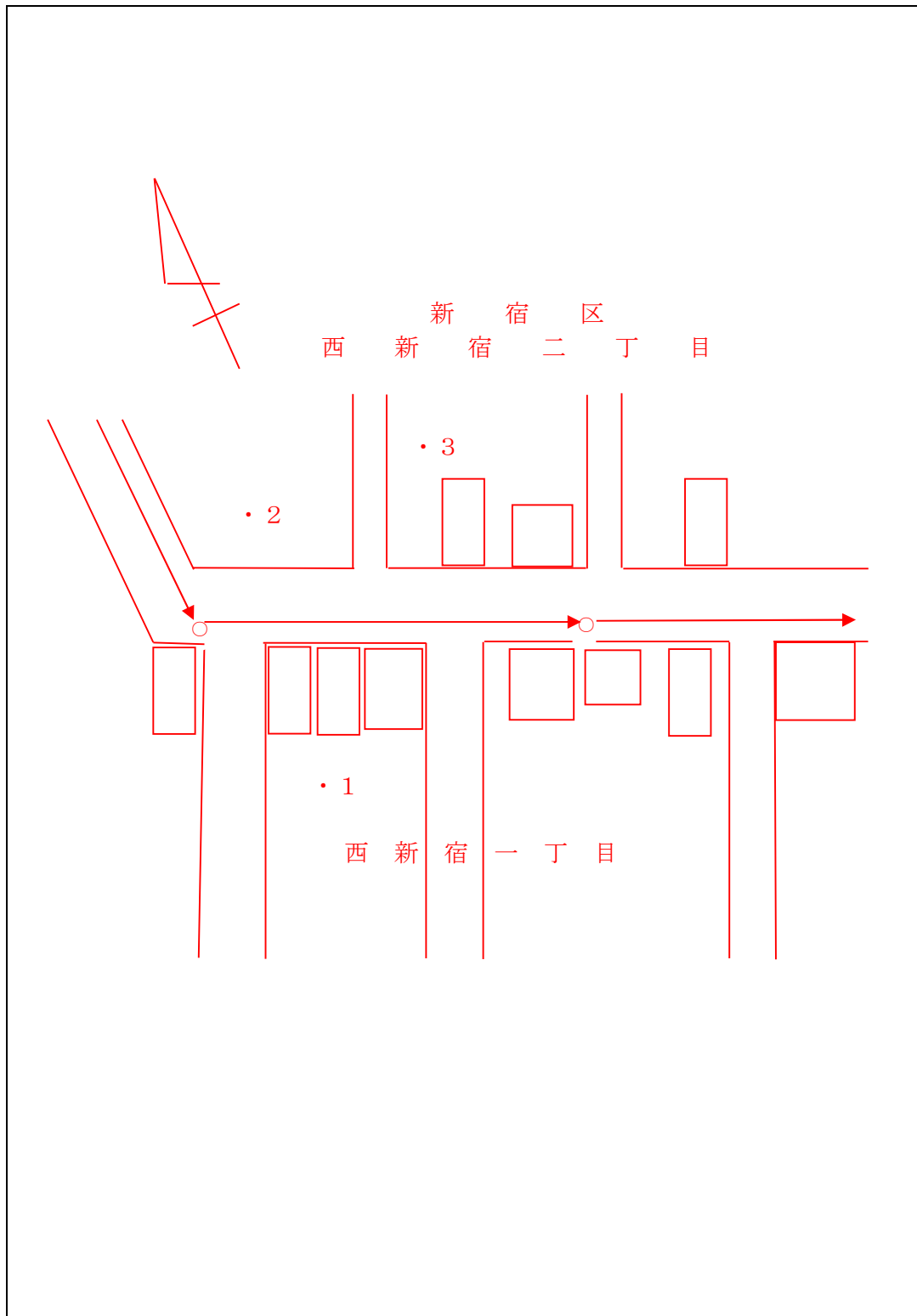
事前調査一覧表（井戸）

（新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事）

整理番号	所有者氏名 電話番号	使用者 電話番号	物件所在地	用途	備考
1	新宿 太郎 (0000)0000	同 左	新宿区西新宿一丁目 3-4	雑用水	
2	東京 花江 (0000)0000	同 左	新宿区西新宿二丁目 8-5	飲料水	
3	下水 一男 (0000)0000	下水 次男 (0000)0000	新宿区西新宿一丁目 9-3	不明	

（A4タテ）

事前調査箇所案内図(井戸)
(新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)



(注) 原則A4タテとし、A3ヨコも可。

井戸実態調査書

(新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)

整理番号	1	所有者	新宿 太郎		住所	新宿区西新宿一丁目3番4号	
		使用者	同 上		住所	同 上	
使用目的	雑用水		業態又は 使用人数	5名		水道の有無	有
さく井年 く井月	昭和25年5月			井戸形式	開放 密閉 打込		
揚水設備	揚水管径13mm 手押しポンプ 電動ポンプ (形式〇〇〇)			井戸給水 栓 数	台所〇個 便所〇個 浴室〇個 その他〇個		
井戸径	100 cm		井水 使用量	0.5 m ³ /日		外観	良
地盤高	0.9m		井戸枠高	0.27m		井戸深	3.70m
水面 までの 距離	2.52m		水深	1.18m		気温	14℃
水温	18℃		水質	PH7.8		注入箇所 からの 距離	139m

調査員	玉石 石松	調査 年月日	〇年〇月〇〇日	立会人	新宿 太郎
備考					

(A4タテ)

東京都下水道局
 △△△事務所長 ○○○○ 殿

下水道建設株式会社
 現場代理人 甲 野 太 郎

損害補償の処理計画書兼実施報告書

- 1 工事番号 0000第0000号
- 2 工事件名 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事
- 3 工期 ○年○月○日～ ○年○月○日
- 4 受注者名 下水道建設株式会社
 補償担当： 江戸 一郎 (電話番号) ○○-○○○○-○○○○
 現場担当： ○○ ○○ (電話番号) ○○-○○○○-○○○○
- 5 調査会社名 株式会社下水設計
 担当者： 玉石 石松 (電話番号) ○○-○○○○-○○○○

計画・実施表

上段は赤で計画を示し、下段は黒で実施を示す。

項目	○年												備考			
	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月				
工事後の連絡先のお知らせの配布	—														予定件数○件 実施件数○件	
地盤安定の確認	—	—	—													
下水道工事完了に伴う家屋調査についての配布・回収				—	—										予定○件 実施○件	予定○件 実施○件
調査請求書兼補償請求書の配布・回収				—	—										予定○件 実施○件	予定○件 実施○件
家屋調査の実施					—	—									予定件数○件 実施件数○件	
報告書の作成・提出							—	—								
審議委員会資料の作成・提出									—	—						
折衝予定												—	—			

遅延理由

- (注) 1 系統図を添付する。
 2 工事完了の30日前までに計画書を作成・提出すること。その後、本書の報告は2か月毎に行う。なお、期日を2週間以上遅れて提出した場合は、遅延理由を明記のこと。
 3 「下水道工事完了に伴う家屋調査についての配布・回収」及び「調査請求書兼補償請求書の配布・回収」の備考欄は、左側に配布作業を、右側に回収作業の計画、実施件数を記入すること。なお、配布・回収の時期については、まとめて記入することができる。(上記見本のとおり)
 4 複合処理する物件がある場合は、前回工事の工事番号、件名、工期、受注者名、調査会社名を別紙で提出する。また、系統図で該当物件がある路線を青で示す。

(A4タテ)

新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に起因する 第三者損害の補償に関する協定書

東京都下水道局（以下「甲」という。）と受注者〇〇〇〇〇（以下「乙」という。）とは、〇〇〇〇第〇〇〇〇号 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に起因して発生した第三者損害の補償事務に関し、【土木工事標準仕様書】第5章 5.1.3の規定に基づき「損害補償の処理計画書兼実施報告書」が提出されたので、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、第三者損害の補償事務に関する基本的事項を定め、相互の関係事務の適性かつ円滑な処理を図ることを目的とする。

（用語の定義）

第2条 この協定における用語の定義は次のとおりとする。

- （1） 第三者損害 下水道工事に起因して第三者の建物、工作物等に及ぼした損害をいう。
- （2） 補償事務 第三者損害の調査及び認定、補償費用の査定、和解折衝等をいう。
- （3） 補償費用 下水道工事に係る第三者への補償費用、事後調査費用をいう。

（協定の適用範囲）

第3条 この協定の適用範囲は、別紙1「事前調査個所案内図」のとおりとする。

（補償事務の流れ）

第4条 乙は、甲の「東京都下水道工事損害補償要綱」及び「下水道局損害補償調査作業基準」に基づき事後調査を行う。

2 事後調査終了後、乙の作成した事後調査報告書等により、甲が損害の認定及び補償費用、事後調査費用を算出する。

3 算出された補償費用に基づき、乙が和解折衝を行う。

（補償費用及び負担割合）

第5条 補償費用及び負担割合については、別途協議する。

（連絡員の指定）

第6条 甲、乙は、補償事務を円滑に処理するために各々連絡員を定め、誠意を持って相互に協力しあうものとする。

(個人情報等の取扱について)

第7条 乙は、業務上知り得た個人情報等を他に漏らしてはならない。また、業務上取得、作成した文書等の情報管理を徹底しなければならない。

(その他)

第8条 この協定に定めのない事項又は協定の条項の解釈に疑義を生じた場合は、その都度、甲、乙が協議して定めるものとする。

この協定締結の証として、本書2通を作成し、甲、乙が記名押印の上、各1通を保有する。

〇〇年〇〇月〇〇日

甲 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
東京都公営企業管理者
下水道局長 ⑩

乙 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇
代表者 ⑩

○年○月○日

下水道工事完了に伴う家屋調査について

平素より、下水道事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

この度、**新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事**が完了しました。

つきましては、工事後の家屋調査を行いたいと思いますので、お手数ですが、別紙回答書に必要事項をご記入の上、ご回答ください。

今回の家屋調査は、仮に家屋等の被害が確認できない場合でも希望することができます。

工事後の家屋調査を希望された方には、「調査請求書兼補償請求書」をご提出していただいた上、後日、調査員が改めてご都合をお伺いいたしますので、希望される日時をお伝えください。

よろしくお願いいたします。

なお、家屋調査に関する資料は、上記目的以外に利用及び第三者に提供することはありません。調査した資料の漏えい、滅失、き損等の防止のため、必要な保護措置を講じ適切に管理します。

また、本調査に関する金銭等の請求は一切ありません。

下水道局 (所管事務所)	東京都下水道局△△△事務所	○○課	○○担当
(所在地)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
(電話番号)	○○-○○○○-○○○○		
(担当者名)	○○○○		
受注者 (会社名)	下水道建設株式会社		
(所在地)	東京都新宿区西新宿二丁目9番1号		
(電話番号)	○○-○○○○-○○○○		
(担当者名)	○○○○		
調査会社 (会社名)	株式会社下水設計		
(所在地)	東京都新宿区西新宿二丁目6番1号		
(電話番号)	○○-○○○○-○○○○		
(担当者名)	○○○○		

(注) 1 工事完了後、地盤の安定を待ち、当局職員の承認を得て、事前調査を行った全世帯へ配布する。

2 「補償事務の流れ」を裏面(別紙)に印刷し、一緒に配布する。

(A4タテ)

損害認定及び補償費の負担等 に関する協議の依頼について

○年○月○日

東京都下水道局

△△△事務所長 ○○ ○○殿

新宿区西新宿二丁目9番1号

下水道建設株式会社

代表取締役社長 下 水 道 雄 ⑩

貴局発注の下記工事を当社において施行したところ、物件所有者から損害の調査及び補償の請求がありました。当社で損害の発生について調査したところ、添付の事後調査報告書のとおりとなりました。

この損害は、当社施行の下記下水道工事と因果関係を有しているものと判断しますので貴局においてその旨認定願います。

なお、認定の上は、別添の損害調査報告書等により補償限度額、事後調査費用及び負担割合について協議願います。

記

- 1 工 事 件 名 (○年度○○○○第○○○○号)
新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事
- 2 工 期 着 手 ○年○月○日
完 了 ○年○月○日
- 3 事前調査件数 計 9件
(請求書なし 計 3件)
- 4 家屋調査件数 家屋等 計 6件
(調査の結果、被害なし 計 1件)
- 5 物件所有者 東京 太郎 ほか 7名

(注) 金銭補償と現物補償は、本書を分けて作成する。

(A4タテ)

損害認定及び補償費の負担等 に関する協議の依頼について

○年○月○日

東京都下水道局

△△△事務所長 ○○ ○○殿

新宿区西新宿二丁目9番1号

下水道建設株式会社

代表取締役社長 下 水 道 雄 ⑩

貴局発注の下記工事を当社において施行したところ、物件所有者から損害の調査及び補償の請求がありました。当社で損害の発生について調査したところ、添付の事後調査報告書のとおり、全件被害なしとなりましたので、認定願います。

なお、認定の上は、別添の損害調査報告書等により事後調査費用について協議願います。

記

- 1 工 事 件 名 (○年度○○○○第○○○○号)
新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事
- 2 工 期 着 手 ○年○月○日
完 了 ○年○月○日
- 3 事前調査件数 計 9件
(請求書なし 計 3件)
- 4 家屋調査件数 家屋等 計 6件
(調査の結果、被害なし 計 6件)
- 5 物件所有者 東京 太郎 ほか 7名

(A4タテ)

第三者損害に関する報告及び負担等 に関する協議の依頼について

○年○月○日

東京都下水道局

△△△事務所長 ○○ ○○殿

新宿区西新宿二丁目9番1号

下水道建設株式会社

代表取締役社長 下 水 道 雄 ⑩

貴局発注の下記工事を当社において施行し、事前調査を行ったすべての世帯に対し、「工事後の連絡先のお知らせ」及び「下水道工事完了に伴う家屋調査について」を配布しましたが、建物及びその他工作物の変状について、「調査請求書兼補償請求書」を提出された方はいませんでした。

よって、当社施行の下記下水道工事を原因とする家屋等の損害は存在しないと判断しましたので、下記のように報告します。

なお、別添「下水道工事完了に伴う家屋調査について等配布回収実施報告書」により、事後調査費用について協議願います。

記

- 1 工 事 件 名 (○年度○○○○第○○○○号)
新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事
- 2 工 期 着 手 ○年○月○日
完 了 ○年○月○日
- 3 事前調査件数 計 9件
- 4 添 付 書 類
・事後調査報告書

(A 4 タテ)

○年度
○○○○第○○○○号

事後調査報告書

(新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)

○年○月○日

下記の資料を添え、報告します。

記

- 1 ○○○○工事による第三者損害について (受注者見解書)
- 2 事後調査一覧表
- 3 下水道工事完了に伴う家屋調査について等配布回収実施報告書
- 4 工事完了後の家屋調査の回答書 (写)
- 5 調査請求書兼補償請求書 (写)
- 6 事後調査箇所案内図
- 7 施工説明書
- 8 家屋工作物現況図 (事後)
- 9 説明表 (事後)
- 10 写真帳
- 11 事前、事後調査の写真ネガ帳等 (別冊)
- 12 損害物件修理一覧表
- 13 損害物件修理箇所案内図

下水道建設株式会社
現場代理人 甲野太郎
(連絡員)

(注) 1 「調査請求書兼補償請求書」が提出されず、家屋調査を実施しなかった場合は、2及び5から10までの添付は不要である。

2 写真ネガを電子媒体で提出する場合は、土木工事標準仕様書「附則7工事記録写真撮影要領」(最新版)の定めるところによること。

(A4タテ)

新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事 による第三者損害について

この被害は、新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に伴う開削工事(鋼矢板工法、掘削深 3.98m、水位 GL-0.7m)施工中の湧水汲上げが原因で生じた地盤沈下によるものであり、沈下は現在 5mm～25mmに達した状態で安定しています。

当現場の状況は、下町特有の軟弱地盤で湧水も多く、また、区画整理も行われていない曲がった道路であり、そこに汚水管、雨水管を埋設する施工条件の悪い場所です。

この被害は、当該工事に起因して生じたものと認められるので、この旨貴局において認定願います。

- (注) 1 「調査請求書兼補償請求書」が提出されず、家屋調査を実施しなかった場合は、工事完了後の対応を記入し、経過がわかるようにする。
- 2 本文は、工事件名ごとの損害発生起因の例示であるが、2つ以上の工事による競合工事、複合工事または継続工事による発生起因の場合は、最終工事件名で報告書を整え文章の表現を替えるとともに関連工事の件名、工期、受注者名を明記する。

(A4タテ)

事後調査一覧表

整理 番号	物件所在地	所有者住所氏名 電話番号	使用者 電話番号	構造 調査床面積 用途 経過年数	損害概要
1	新宿区西新宿 一丁目1番1号	新宿区西新宿 一丁目1番1号 東京 太郎 (0000)0000	同 左	木造2階建 139.91 m ² 住宅 7年	基礎亀裂 4 mm 建付不良 タイル亀裂 7 mm
2	新宿区西新宿 一丁目2番1号	千代田区大手町 二丁目6番2号 下水工業株式会社 取締役 下水 一 (0000)0000	下水 次郎 (0000)0000	木造平家建 102.00 m ² 店舗住宅 12年	土間亀裂 10 mm 床不陸 天井漏水
3	新宿区西新宿 一丁目2番2号	同 左 新宿 一郎 新宿 二郎 (0000)0000	同 左	木造2階建 53.24 m ² 住宅 10年	基礎亀裂 4 mm 土間亀裂 5 mm 建付不良
4	新宿区西新宿 一丁目2番3号	同 左 日本 太郎 日本 花子 (0000)0000	同 左	木造2階建 60.00 m ² 住宅 5年	外装タイル亀裂 3 mm 外装亀裂 2 mm
5	新宿区西新宿 一丁目3番1号	新宿区西新宿 一丁目3番1号 東京 次郎 (0000)0000	同 左	RC4階建 647.76 m ² 共同住宅 7年	門扉不良 塀亀裂 5 mm 土間亀裂 3 mm
6	新宿区西新宿 一丁目3番3号	新宿区西新宿 一丁目3番3号 多摩 一男 000(000)0000	同 左	RC4階建 654.76 m ² 共同住宅 3年	変化なし

(注) 事後調査一覧表は、家屋等の調査を実施した物件を記載し、整理番号は、連番で附す。

(A4タテ)

〇〇年〇〇月〇〇日

東京都下水道局
△△△事務所長 〇〇〇〇 殿

新宿区西新宿二丁目9番1号
下水道建設株式会社
代表取締役社長 下水 道雄 ㊟

下水道工事完了に伴う家屋調査について等配布回収実施報告書

貴局発注の下記工事について、「下水道工事完了に伴う家屋調査について」等の配布回収作業を行いましたので報告します。なお、物件の所有者については現場代理人が確認済です。

工事番号〇〇〇〇-〇〇〇〇号 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事

整理番号	物件所在地	所有者氏名 電話番号	使用者氏名 電話番号	家屋調査について 回収年月日	請求書 回収年月日
1	新宿区西新宿一丁目1番1号	東京 太郎 (0000)0000	同 左 同 左	H21.11.10	H21.11.13
2	新宿区西新宿一丁目2番1号	下水工業㈱取締役下水 一 (0000)0000	下水 次郎 (0000)0000	H21.11.10	H21.11.13
3	新宿区西新宿一丁目2番2号	新宿一郎・新宿二郎 (0000)0000	同 左 同 左	H21.11.10	H21.11.12
4	新宿区西新宿一丁目2番3号	日本太郎・日本花子 (0000)0000	同 左 同 左	H21.11.10	H21.11.12
5	新宿区西新宿一丁目3番1号	東京 次郎 (0000)0000	同 左 同 左	H21.11.10	H21.11.13
6-1	新宿区西新宿一丁目3番2号	多摩 一男 000(000)0000	多摩 次男 (0000)0000	H21.11.10	なし
6-2	新宿区西新宿一丁目3番3号	多摩 一男 000(000)0000	同 左 同 左	なし(コピー) (経緯書あり)	なし
7	新宿区西新宿一丁目4番1号	〇〇 △△ (0000)0000	同 左 同 左	H21.11.15	なし
8	欠番				なし
9	新宿区西新宿二丁目7番8号	△△ □□□ 000(000)0000	□□ 〇〇 (0000)0000	なし (経緯書あり)	なし
10	新宿区西新宿二丁目7番9号	△△管理組合理事長〇〇 〇〇 000(000)0000		H21.11.15	H21.11.20
合計実施件数				8件	6件

- (注) 1 「下水道工事完了に伴う家屋調査について」は「家屋調査について」とし、「調査請求書兼補償請求書」は、「請求書」とする。「整理番号」は、事前調査一覧表の整理番号と同じとする。
2 「調査請求書兼補償請求書」の配布回収がない場合は、「なし」と記載する。最終行に、それぞれの書類の配布件数の合計を記入すること。
実施年月日は、それぞれの回答年月日を記入する。
3 家屋調査について、回収がない場合は「なし」とし、経緯書を添付する。

(A4タテ)

工事完了後の家屋調査の回答書

(工事件名：新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)

* 工事完了後の家屋調査について、該当の番号を○で囲んでください。

1 希望する。

2 希望しない。 理由 (1) 家屋等に変状なし
(2) その他 ()

* お気づきの点がありましたら、ご記入ください。

* 年 月 日 (回答書記入日)

* 物件所在地 _____

* 物件所有者住所・氏名 _____

* 電話番号 _____

※1 この回答書は、必ず物件所有者の方が記入するようにしてください。
2 上記の「1 希望する」を選ばれた方は、「調査請求書兼補償請求書」へのご記入をお願いします。

調査請求書兼補償請求書

私所有の下記物件について、東京都発注の下水道工事に起因する被害の有無を調査
願います。

なお、調査の結果、被害があった場合には補償を請求します。

記

- 1 工 事 件 名 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事
- 2 物 件 所 在 地 新宿区西新宿一丁目1番1号
- 3 物 件 の 概 要 建物

○年○月○日

物件所有者

住所 新宿区西新宿一丁目1番1号

氏名 東京 太郎

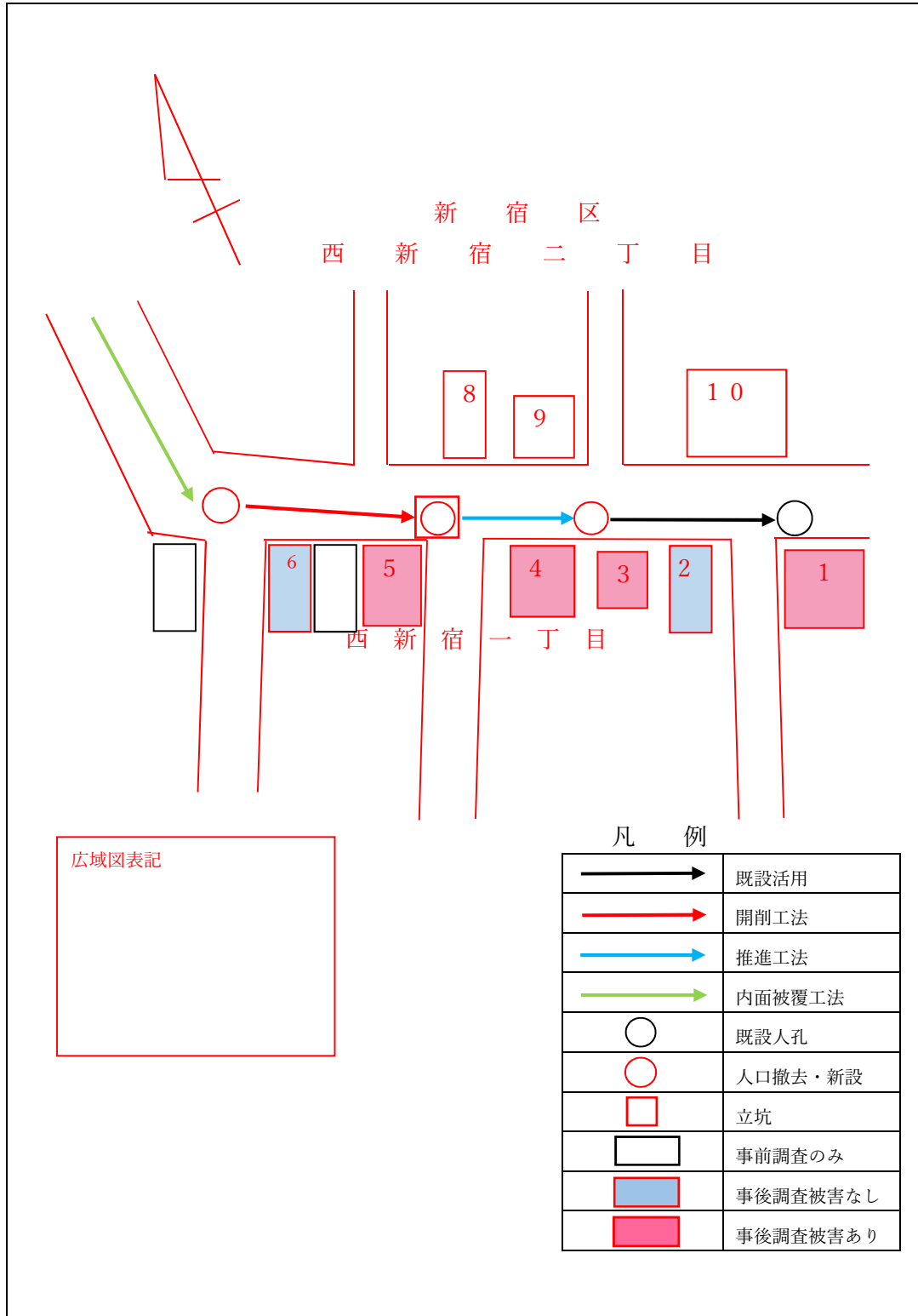
下水道建設株式会社 殿

現場代理人確認	チェック欄

- (注) 1 日付は、書類の作成年月日を記入すること。
- 2 施工中の補償（病人等の仮泊、仮移転、営業休止）については、それぞれの実情に合わせた内容に変更し使用すること。
- 3 所有者が複数の場合は、全員が住所氏名を記入する。ただし、所有者の住所が同一の場合には2人目以降の住所を省略することができる。

事後調査箇所案内図

(新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)



(注) 原則A4タテとし、A3ヨコも可。

(例1 (開削工法))

施 工 説 明 書

管渠（内径500mm）埋設の工法は、下図に示すとおり開削によるものである。
山留工法としては、軽量鋼矢板（長さ3.0m）を用い油圧式圧入機にて杭の打ち込み、引き抜きを行った。

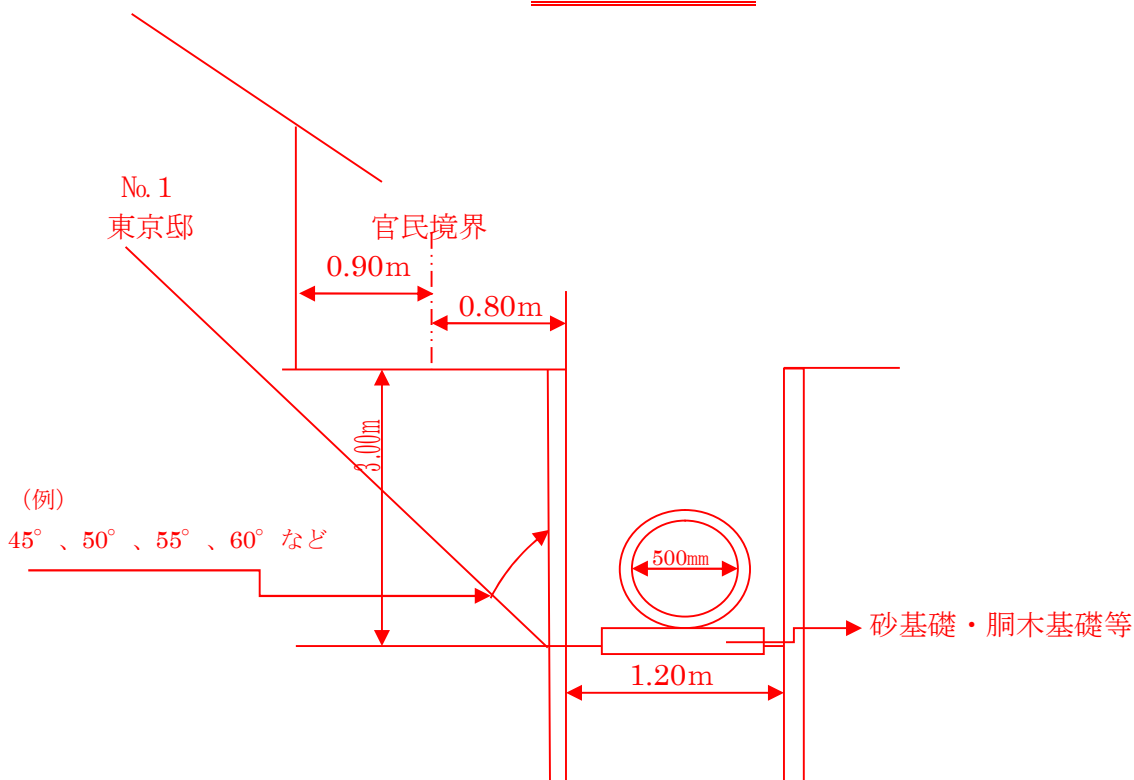
掘削は、バックホーを主に使用した。

埋め戻しは、下記の管渠敷設後、全断面について砂埋め、締固めを行い、その後矢板材を慎重に抜いた。

施工延長を2.0m毎に区切って施工し、逐次工事を進めた。

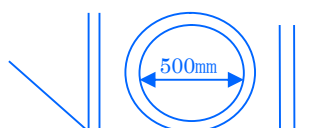
新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事

掘削断面図



(A4タテ)

- (注) 1 工事と調査物件との位置を明示する。
2 調査対象物件の図に、事後調査一覧表の整理番号及び物件所有者名を記載する。
3 外構（門・柵・塀）がある場合は、その位置も記載する。
4 調査対象物件の配置に沿った図にすること。（同じ図を使用し、数値等だけを変更しないこと）
掘削深さ、掘削幅、官民境界までの距離は縮尺を整合させる
5 掘削断面図には、掘削床付け位置から影響線を表示し、その影響角度を記入する。
（例：45°、50°、55°、60°など）
6 基礎のない場合の記載例



- 7 内面被覆工法の場合は、管底深さ、下水道管の占用距離、建物から官民境界までの距離を表記する。
8 断面図に表示する建物は、下水道管の下流に向かって表示する。（右、左）

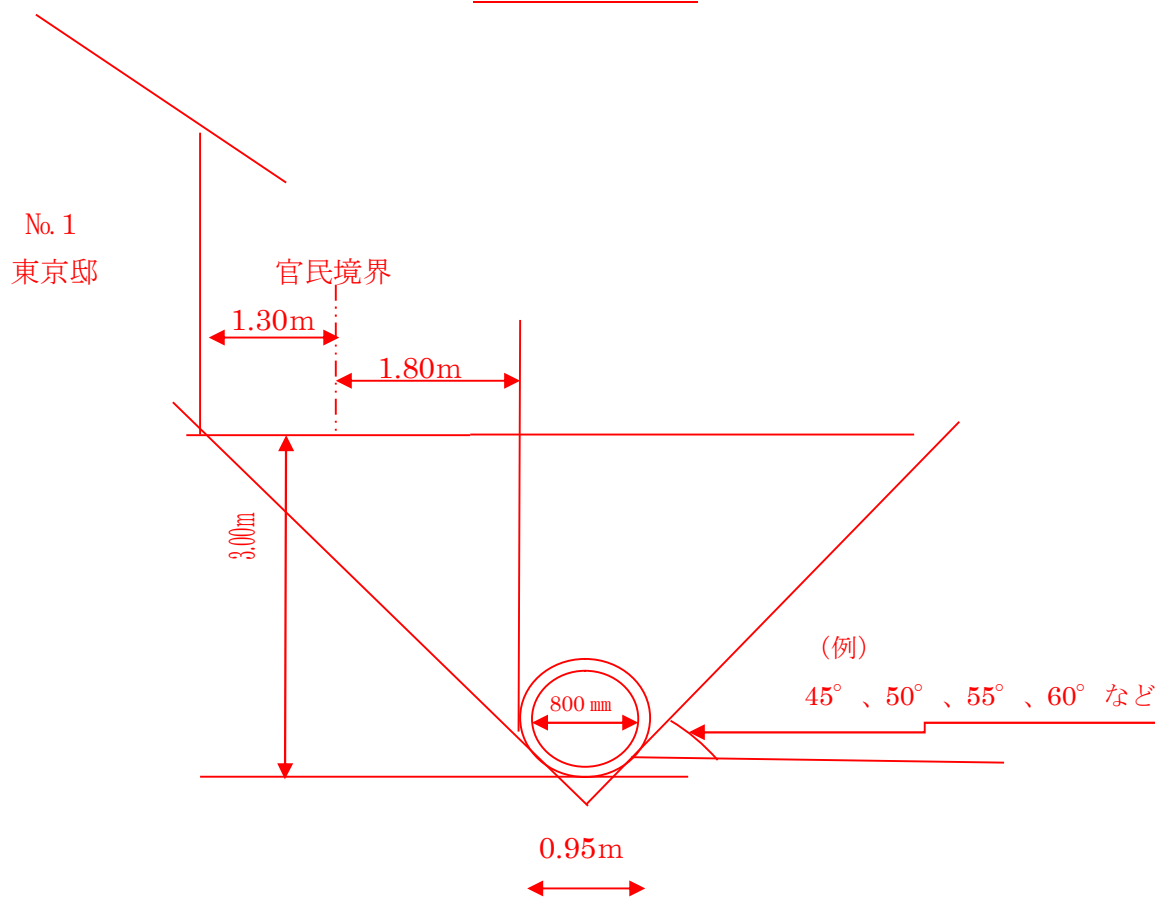
(例2 (推進工法・シールド工法))

施 工 説 明 書

管渠（内径800mm）埋設の工法は、下図に示すとおり推進工法（シールド工法）によるものである。

新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事

掘削断面図



(A4タテ)

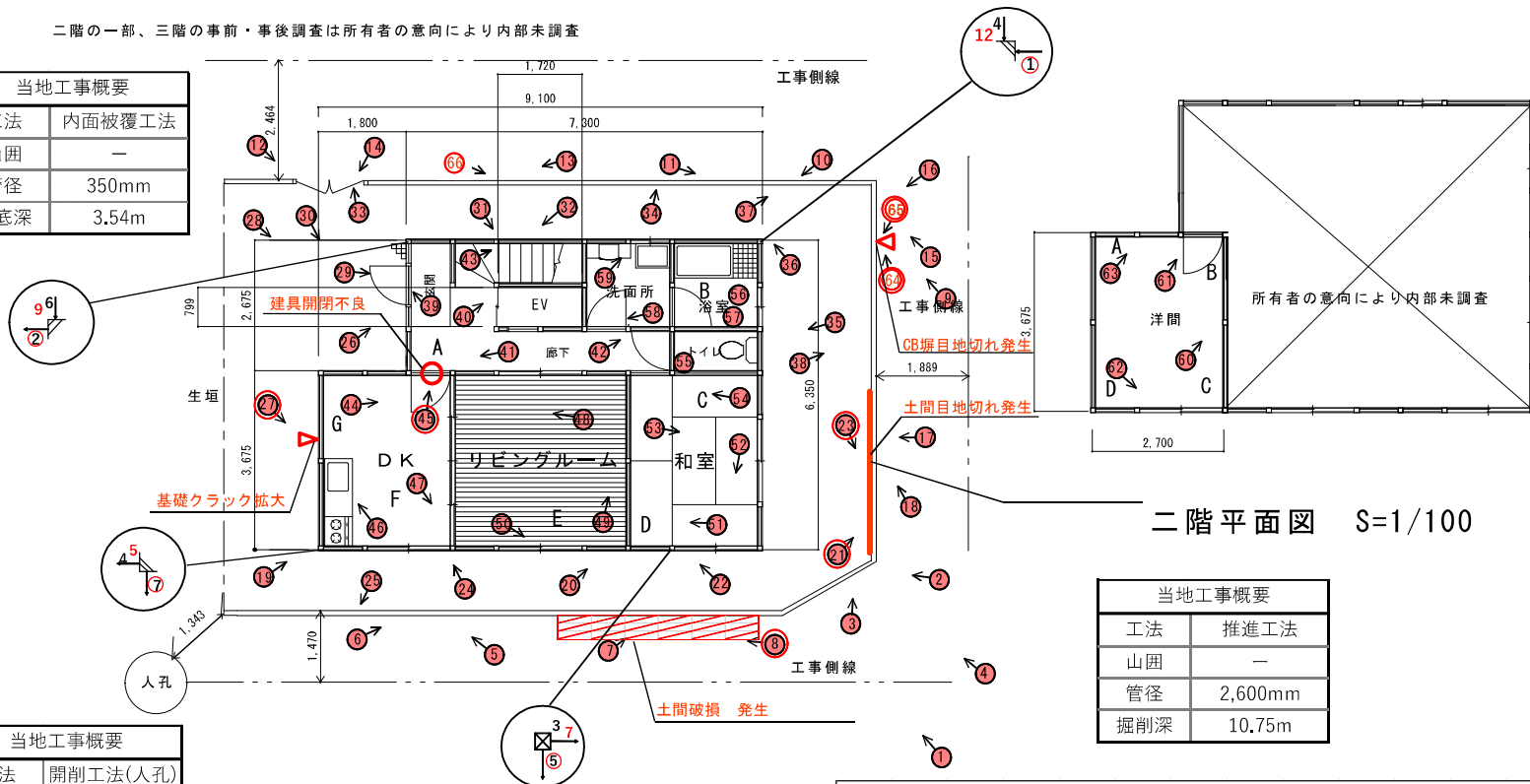
- (注) 1 工事と調査物件との位置を明示する。
- 2 調査対象物件の図に、事後調査一覧表の整理番号及び物件所有者名を記載する。
- 3 外構（門・柵・塀）がある場合は、その位置も記載する。
- 4 調査対象物件の配置に沿った図にすること。（同じ図を使用し、数値等だけを変更しないこと）
- 埋設深さ、シールド機外径、官民境界までの距離は縮尺を整合させる。
- 5 シールド工事または推進工事の場合は、掘進機外径が対象物件に最も近い位置から官民境界までの距離を記載する。
- 6 掘削断面図には、掘進機位置から影響線を表示し、その影響角度を記入する。（例：45°、50°、55°、60°など）

家屋工作物現況図（事後）

整理番号	物件所有者	使用者	建築年月日	増築年月日	改装年月日	調査年月日	調査会社	調査員	立合者（注）	
1 (注)	住所 新宿区西新宿1-1-1	住所 新宿区西新宿1-1-1	S62.10	H2.5	H20.12	事前	平成30年5月10日	(株)下水道設計	玉石 石松	東京 太郎
	氏名 東京 太郎	氏名 東京 太郎				事後	令和2年6月7日	(株)下水道設計	玉石 石松	東京 太郎
構造	木造、RC造、S造 ○階建 その他（ ）	屋根	日本瓦、瓦棒鉄板葺、コロニアル葺 その他（ ）	外壁	モルタル塗、サイディング その他（ ）	基礎	布基礎、ベタ基礎 その他（ ）	面積	1F 51.59㎡ 2F 9.92㎡	3F - 延面積 61.51㎡

二階の一部、三階の事前・事後調査は所有者の意向により内部未調査

当地工事概要	
工法	内面被覆工法
山囲	-
管径	350mm
管底深	3.54m



当地工事概要	
工法	開削工法(人孔)
山囲	軽量鋼矢板
内径	1200mm
掘削深	2.45m

当地工事概要	
工法	開削工法
山囲	軽量鋼矢板
管径	250mm
掘削深	2.52m

(注) 損害箇所の写真番号は、◎で表記する。
事後調査時のみ撮影の写真番号は○で表記する。

一階平面図 S=1/100

二階平面図 S=1/100

当地工事概要	
工法	推進工法
山囲	-
管径	2,600mm
掘削深	10.75m

レベル測定表 (単位: mm)																
測定箇所	段差	事前			事後			差	測定箇所	段差	事前			事後		
		測定値	補正值	相対値	測定値	補正值	相対値				測定値	補正值	相対値	測定値	補正值	相対値
一階																
A	0	925		0	768		0	0	A	0	930		0	780		0
B	0	927		-2	774		-6	-8	B	0	931		-1	762		-2
C	-30	960	930	-5	810	780	-12	-12	C	0	940		-10	782		-22
D	-30	975	945	-20	838	808	-40	-40	D	0	941		-11	780		-20
E	0	940		-16	798		-30	-30								
F	-30	984	954	-29	877	847	-79	-79								
G	-30	980	950	-25	867	837	-68	-68								
二階																

(注) 立合者が、所有者・使用者ではない場合は、所有者との関係を明記する。

(注) 事後調査の整理番号は赤字、事前調査の整理番号は黒字で記載する。

(A3ヨコ)

整理番号 1	説明表（事前・事後）		
写真 説明	撮影箇所	測定値	損傷概要
1	全景	事前 ----- 事後	
2	CB塀 現況	事前 ----- 事後	変化なし
... -----
8	土間 破損	事前 ----- 事後 W=10 mm、L=480 cm	発生
9	土間 隙間	事前 W=1 mm、L=50 cm ----- 事後	受注者補修・承諾済
1 8	CB塀クラック	事前 ----- 事後 W=2 mm、L=5 cm	工事起因外・受注者対応済
... -----
6 5	CB塀目地切れ	事前 ----- 事後 W=2 mm、L=65 cm	申出・発生
6 6	土間 隙間	事前 W=1 mm、L=30 cm ----- 事後 W=3 mm、L=30 cm	申出・工事起因外
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	
		事前 ----- 事後	

(注) 1 各写真の説明については、調査項目、調査資料を参考の上、記入する。

2 計測の単位は幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。

(A 4 タテ)

写 真 帳

整理番号	1		
事後写真		家屋番号〔1〕	事前写真
1	事後調査写真	事前調査写真	1
全 景			全 景
2	事後調査写真	事前調査写真	2
CB 塀現況 変化なし			CB 塀現況
8	事後調査写真	事前調査写真	8
土間破損 発生			土間現況

- (注) 1 原則として事後調査写真には、対応する事前調査写真を添える。
 2 事後及び事前写真は、見開きで対照できるように製本する。
 3 損害の発生、拡大は、赤で表記する。
 4 家屋番号はそれぞれ事前・事後のものを用いる。

(A 3ヨコ)

損害物件修理一覧表

工事番号 ○○○○第○○○○号

工事件名 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事

受注者 下水道建設株式会社

現場代理人 甲野 太郎

(連絡員)

整理番号	物件所在地名	修理の内容	承諾の有無	備考
1	新宿区西新宿 1-1-1 東京 太郎	建具調整 外壁亀裂補修	有	承諾書類 受注者保管
2	新宿区西新宿 1-2-1 下水 一	建具調整 土間コン亀裂補修	有	口頭で承諾
3	新宿区西新宿 1-2-2 新宿一郎・新宿二郎	基礎亀裂補修	有	承諾書類 受注者保管
4	新宿区西新宿 1-2-3 日本太郎・日本花子	建具調整 土間コン亀裂補修	〃	〃 〃
5	新宿区西新宿 1-3-1 東京 次郎	門扉建付調整 外壁亀裂補修	〃	〃 〃
6	新宿区西新宿 1-3-3 多摩 一男	タイル目地補修 基礎亀裂補修	〃	〃 〃

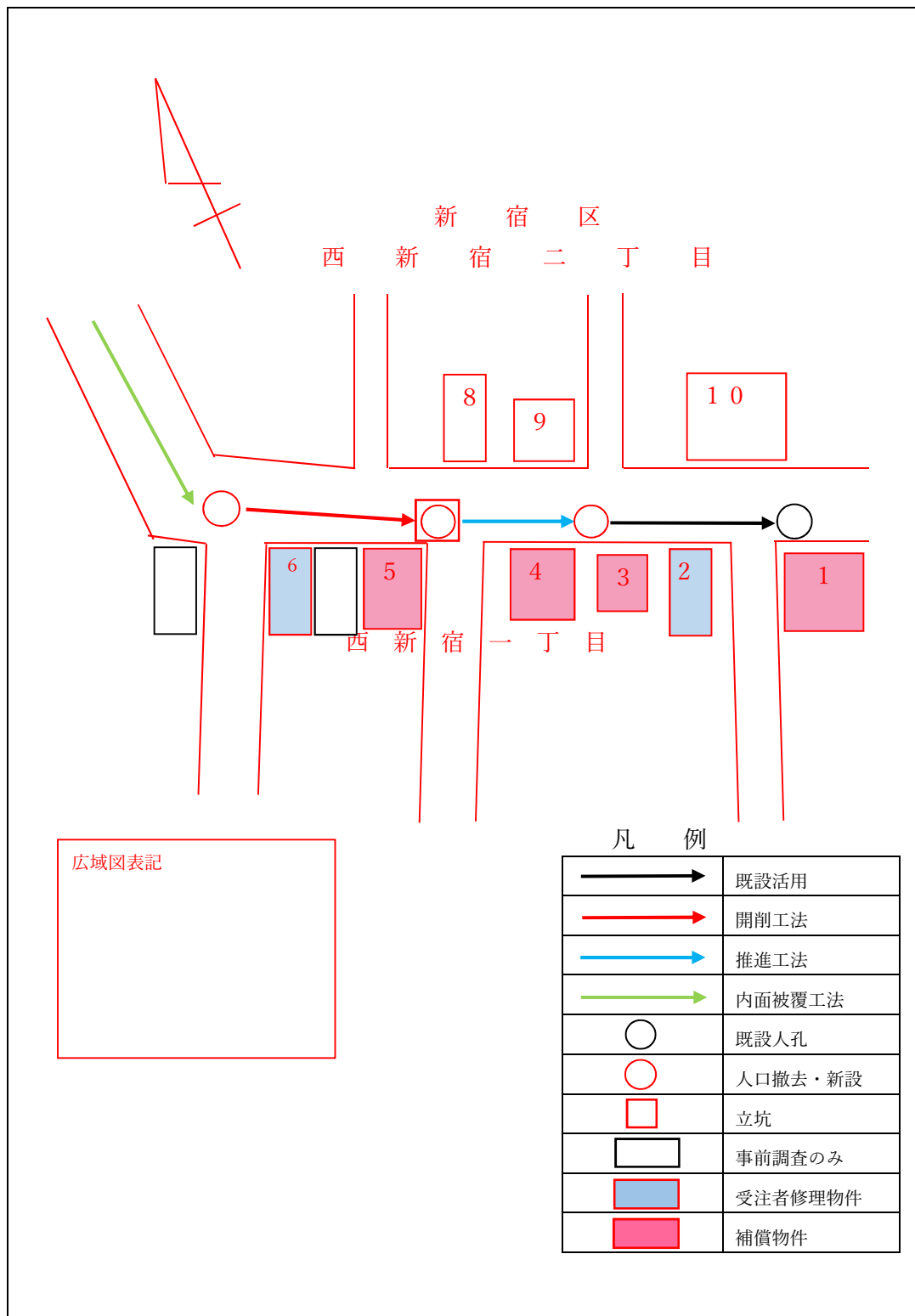
(A4タテ)

(注) 工事起因による損害の発生・拡大箇所を受注者が補修した案件について作成する。

修理物件の修理前、修理後の写真を填補すること

損害物件修理箇所案内図

(新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)



(注) 原則A4タテとし、A3ヨコも可。

〇〇年度
〇〇〇〇第〇〇〇〇号

損 害 調 査 報 告 書
(新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事)

〇年〇月〇日

下記の資料を添え、報告します。

記

- 1 損害調査一覧表
- 2 事後調査箇所案内図
- 3 損害調書（工事内訳書、調査概要調書、修理図面、その他関係書類）

下水道建設株式会社
現場代理人 甲野 太郎
(連絡員)

(A 4 タテ)

損 害 調 査 一 覧 表

工事件名		新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事		受注者	下水道建設株式会社			
整理番号	物件所有者	構 造 延床面積	損害見積額	当 該 地 状 況				備 考
				側線からの距離	掘削深	地質	沈下最大	
1	東京 太郎	木造 2階建 153.16 m ²	円 0,000,000	m 1.0	m 3.0	シト	mm 20	
2	下水工業(株) 取締役下水 一	木造平家建 102.00 m ²	000,000	1.3	2.1	〃	15	
3	新宿 一郎 新宿 二郎	木造 2階建 53.24 m ²	0,000,000	1.5	2.6	〃	25	
4	日本 太郎 日本 花子	木造 2階建 60.00 m ²	000,000	2.0	3.1	〃	18	
5	東京 次郎	RC 4階建 647.76 m ²	000,000	1.8	2.5	〃	15	
6	多摩 一男	RC 4階建 654.76 m ²	0	1.5	2.3	〃	10	被害なし
		合 計	0,000,000					

(注) 開削工事の地質は掘削床付の地質を記載する。(立坑工事含む)

シールド・推進工事の地質は、掘削部分の地質を記載する。

(A 4 タテ)

損 害 調 書

工事件名 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事

整理番号	1	物件所在地		新宿区西新宿1-1-1			
		所有者住所		新宿区西新宿1-1-1 東京 太郎			
用途	住宅	種別	建物	延面積	153.16 m ²	経過年数	7
工種	単位	数量	金額		備考		
○○○○○○○	式	1	0,000,000				
○○○○○○○○○	式	1	00,000				
○○○○○○○	式	1	000,000				
○○○○○○○○○	式	1	0,000,000				
○○○○○	式	1	0,000				
合	計		0,000,000				
<p>工事概要</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="color: red;">1. ○○補修</p> <p style="color: red;">2. ○○補修</p> <p style="color: red;">3. ○○補修</p> <p style="color: red;">4. ○○補修</p> <p style="color: red;">5. ○○補修</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="color: red;">6. ○○補修</p> <p style="color: red;">7. ○○補修</p> <p style="color: red;">8. ○○補修</p> </div> </div> <p style="text-align: right; color: red;">30—住宅—0</p>							

(注) 複合処理した物件は、工事概要欄の右上に前回工事の件名、受注者名、調査会社名を記入する。

(A4タテ)

工 事 内 訳 書

名 称	形 状	単 位	数	量	単 価	金 額	備 考
○○○○○○○○	○○○○	○	○○	○	000	0,000	
○○○○○	○○○○○	○	○○○	○	000	0,000	
○○○○○	○○○○○	○	○○○	○	000	00,000	

(頁)

(注) 数量計算書を添付する。

(A4タテ)

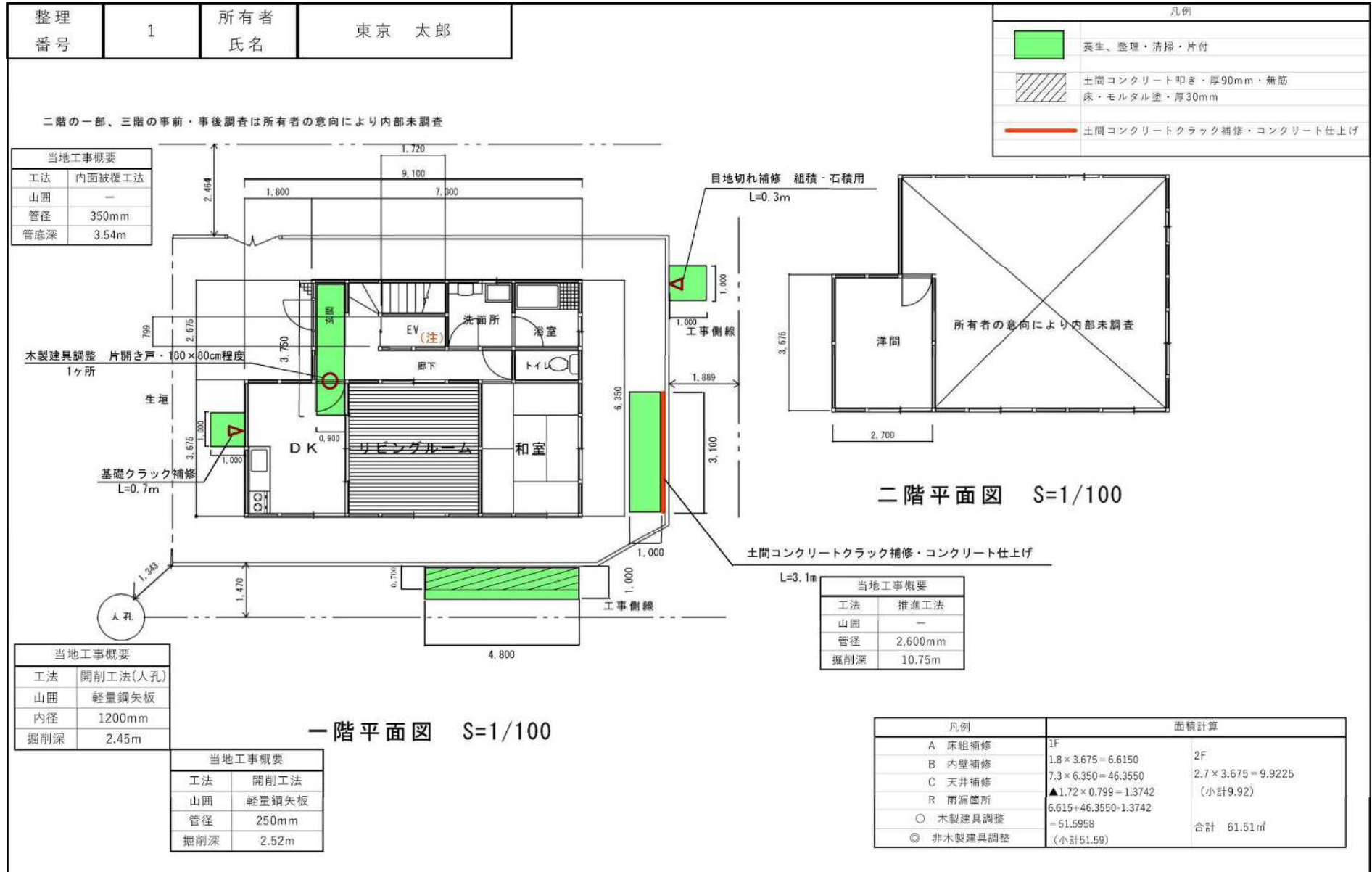
調 査 概 要 調 書

整 理 番 号	1	事 後 調 査 年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日					
仕 上 表	階別	室 名	床	巾木・腰	内 壁	天 井	備 考	
	1 階	和室	タタミ			京塗壁	杉柂合板	
		廊下	縁甲板			繊維壁	杉柂合板	
		リビングルーム	フローリング			ビニールクロス貼	化粧石膏ボード	
		DK	フローリング			ビニールクロス貼	化粧石膏ボード	
		浴室	モザイクタイル	100 角タイル		吹付タイル	リシ掻き落とし	
		玄関	150 角タイル			小口タイル	化粧石膏ボード	
		階段室	縁甲板			繊維壁	杉柂合板	
		トイレ	クッションフロア			ビニールクロス貼	化粧石膏ボード	
		洗面所	クッションフロア			ビニールクロス貼	化粧石膏ボード	
	2 階	洋間	フローリング			ビニールクロス貼	化粧石膏ボード	
		二階の一部、三階の事前・事後調査については所有者の意向により内部未調査						
調 査 概 要					そ の 他			
1	建物の傾斜(全体・ 部分)			拡大	構 造	木造 3 階建		
2	基礎の亀裂(○箇所)			発 生	建物延床面積	— m ²		
3	床の(傾斜 ・不陸)			拡大	基 礎	布基礎		
4	内壁の(亀裂 ・散り切れ)			発生、拡大	外 壁	吹付タイル		
5	外壁の亀裂(工事面 ・ 右 ・ 左 ・裏)			発生、拡大	塀	コンクリートブロック造		
6	タイルの亀裂(台・ 浴 ・ 便 ・玄)			発 生				
	タイルの目地切れ(台・浴・便・ 玄)			発 生				
7	建具建付不良			発 生				
8	(屋根 ・外壁)からの雨漏り			発 生				
9	塀の傾斜			拡 大	構造資料の使用	(有 ・ 無)		
	塀の亀裂			発生、拡大				
10	土間コンクリートの亀裂			発 生	建物調査床面積	61.51 m ²		
11	排水の不良			変化なし	工作物調査面積	— m ²		
12	その他 ()				工作物調査延長	— m		
					(擁壁 高さ 2.5m 構造計算必要)			

(注) 非木造の揚屋積算の際は、その他欄に構造資料の使用の有無を必ず表記する。

(A4タテ)

修 理 図 面



(注) 建物内全体の調査をしなかった場合は、必ず建物調査床面積の計算を行う。

(注) EVは調査面積に計上しない。

(A3ヨコ)

損害調書（給水）

工事件名 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事

現況図

整理番号	1	物件所在地	新宿区西新宿 1-3-4		所有者の住所氏名	新宿区西新宿 1-3-4 新宿 太郎	
用途	雑用水	構造規模	井筒 径 1.0m 深 3.7m	水道の有無	有	経過年数	40年
配水管径	φ13mm	所見 (覆水の可否について受注者の所見を記入)					
給水口径	φ13mm						
水栓数	1か所						
配水管水圧	20Mp	調査会社名	(株)下水設計	調査員氏名	玉石 石松		
給水工事費	¥00,000-			調査年月日	○年○月○日		

図面欄

(A4タテ)

給 水 工 事 内 訳 書

名 称	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
○○○○○○○	○○○○	○	○○ ○	000	0,000	
○○○○○	○○○○○	○	○○○ ○	000	0,000	

(頁)

(A4タテ)

第三者損害に対する補償費負担等 に関する協議書

東京都と受注者下水道建設株式会社とは、受注者が施行した ○年度、○○○○第
○○○○号 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に起因して発生した新宿区西新宿
一丁目1番1号 東京太郎ほかの所有物件等の被害に対する補償について、下記により
補償を実施し、それぞれ負担することを協議し承諾したので、協議書を取り交す。

記

1 協議事項

- (1) 補償限度額は別紙明細書のとおりとする。
(消費税及び地方消費税相当分を含む。)
合計 6 件 (被害なし 1 件含む) ¥○○, ○○○, ○○○. -
(8 名)
- (2) 事後調査費用は ¥○, ○○○, ○○○. - とする。
- (3) 補償金、事後調査費用及び口座振込手数料の負担割合は次のとおりとする。
東京都○○% 受注者○○%

2 その他確認事項

- (1) 第三者損害に対する補償は、受注者が誠意を持ってこれに当たり、迅速、適切に
処理するものとする。
- (2) 受注者は補償限度額内で和解を行い、補償完了後所定の様式により補償金、事後
調査費用及び口座振込手数料のうち、東京都負担分を請求するものとする。
なお、請求書には、支払った補償金及び口座振込手数料の証拠書類を添付する
ものとする。
- (3) 東京都は受注者から請求があった日から起算して、30日以内に東京都負担分
を支払わなければならない。
- (4) この協議書につき、定めのない事項及び変更すべき特段の事由のあるときは、
別途協議するものとする。

東京都と受注者は、本書2通を作成し、それぞれ記名押印の上、各1通を保有する。

○年○月○日

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
東京都公営企業管理者
下水道局長 ○○ ○○ 印

東京都新宿区西新宿二丁目9番1号
下水道建設株式会社
代表取締役社長 下水 道雄 印

(A4タテ)

第三者損害に対する補償費負担等 に関する協議書（第1回）

東京都と受注者下水道建設株式会社とは、受注者が施行した ○年度、○○○○第○○○○号 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に起因して発生した新宿区西新宿一丁目1番1号 東京太郎ほかの所有物件等の被害に対する補償について、下記により補償を実施し、それぞれ負担することを協議し承諾したので、協議書を取り交す。

記

1 協議事項

補償限度額は別紙明細書のとおりとする。

（消費税及び地方消費税相当分を含む。）

合計 2件（被害なし○件含む）¥○, ○○○, ○○○. -

（ ○名）

2 その他確認事項

- (1) 事後調査費用及び負担割合については、次回以降の被害物件と併わせて協議し、決定するものとする。
- (2) 第三者損害に対する補償は、受注者が誠意を持ってこれに当たり、迅速、適切に処理するものとする。
- (3) 受注者は補償限度額内で和解を行い、補償完了後所定の様式により補償金、事後調査費用及び口座振込手数料のうち、東京都負担分については負担割合が決定した後に請求するものとする。
なお、請求書には、支払った補償金及び口座振込手数料の証拠書類を添付するものとする。
- (4) 東京都は受注者から請求があった日から起算して、30日以内に東京都負担分を支払わなければならない。
- (5) この協議書につき、定めのない事項及び変更すべき特段の事由のあるときは、別途協議するものとする。

東京都と受注者は、本書2通を作成し、それぞれ記名押印の上、各1通を保有する。

○年○月○日

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都公営企業管理者

下水道局長 ○○ ○○ 印

東京都新宿区西新宿二丁目9番1号

下水道建設株式会社

代表取締役社長 下水 道雄 印

(注) 分割協議の場合使用することとし、協議事項及びその他確認事項(1)の記載は、状況に応じ変更することができる。 (A4タテ)

第三者損害に対する補償費負担等 に関する協議書（第2回）

東京都と受注者下水道建設株式会社とは、受注者が施行した ○年度、○○○○第○○○○号 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に起因して発生した新宿区西新宿一丁目1番1号 東京太郎ほかの所有物件等の被害に対する補償について、下記により補償を実施し、それぞれ負担することを協議し承諾したので、協議書を取り交す。

記

1 協議事項

- (1) 補償限度額は別紙明細書のとおりとする。
(消費税及び地方消費税相当分を含む。)
合計 4件(被害なし○件含む) ¥○, ○○○, ○○○. -
(○名)
- (2) 事後調査費用は ¥○, ○○○, ○○○. -とする。
(ただし、 ○年○月○日付、協議書(2件)を含む。)
- (3) 補償金、事後調査費用及び口座振込手数料の負担割合は次のとおりとする。
東京都 ○○% 受注者 ○○%

2 その他確認事項

- (1) 第三者損害に対する補償は、受注者が誠意を持ってこれに当たり、迅速、適切に処理するものとする。
- (2) 受注者は補償限度額内で和解を行い、補償完了後所定の様式により補償金、事後調査費用及び口座振込手数料のうち、東京都負担分を請求するものとする。
なお、請求書には、支払った補償金及び口座振込手数料の証拠書類を添付するものとする。
- (3) ○年○月○日付、協議書(2件)の補償金、事後調査費用及び口座振込手数料の負担割合については、本協議事項1(3)のとおりとする。
- (4) 東京都は受注者から請求があった日から起算して、30日以内に東京都負担分を支払わなければならない。
- (5) この協議書につき、定めのない事項及び変更すべき特段の事由のあるときは、別途協議するものとする。

東京都と受注者は、本書2通を作成し、それぞれ記名押印の上、各1通を保有する。

○年○月○日

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
東京都公営企業管理者
下水道局長 ○○ ○○ 印

東京都新宿区西新宿二丁目9番1号
下水道建設株式会社
代表取締役社長 下水 道雄 印

(注) 分割協議の場合使用することとし、協議事項及びその他確認事項(1)の記載は、状況に応じ変更することができる。(A4タテ)

第三者損害に対する補償費負担等 に関する協議書

東京都と受注者下水道建設株式会社とは、受注者が施行した ○年度、○○○○第○○○○号 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に起因して発生した新宿区西新宿一丁目1番1号 東京太郎ほかの所有物件等の事後調査を行った結果、下記の事項について、それぞれ負担割合を協議し承諾したので、協議書を取り交す。

記

1 協議事項

- (1) 事後調査を実施した結果、別紙明細書のとおり全て被害は認められなかったこととする。

合計 被害なし ○○件(○○名) ￥0.-

- (2) 事後調査費用は ￥○, ○○○, ○○○.- とする。

- (3) 事後調査費用の負担割合は次のとおりとする。

東京都 100% 受注者 0%

2 その他確認事項

- (1) 受注者は事後調査の結果について、被害がなかったことに対して、住民に誠意をもって説明し、理解を得ること。
- (2) 事後調査費用については、(1)が終了後、所定の様式により、東京都負担分を請求するものとする。
- (3) 東京都は受注者から請求があった日から起算して、30日以内に東京都負担分を支払わなければならない。
- (4) この協議書につき、定めのない事項及び変更すべき特段の事由のあるときは、別途協議するものとする。

東京都と受注者は、本書2通を作成し、それぞれ記名押印の上、各1通を保有する。

○年○月○日

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都公営企業管理者

下水道局長 ○○ ○○ 印

東京都新宿区西新宿二丁目9番1号

下水道建設株式会社

代表取締役社長 下水 道雄 印

(注) 全物件所有者が家屋調査の希望なしの場合は、その他確認事項(1)の記載を削除し、(2)以降を繰り上げて附番する。

(A4タテ)

協議書別紙明細書

No. ○/○

整理 番号	補償物件及び補償対象者			補償限度額	備 考
	物 件 概 要	物 件 所 在 地 所 有 者 住 所	氏 名		
1	建物	新宿区西新宿一丁目1番1号 同 上	東京 太郎	0,000,000	
2	建物	新宿区西新宿一丁目2番1号 千代田区大手町二丁目6番2号	下水工業(株) 取締役 下水 一	000,000	
3	建物	新宿区西新宿一丁目2番2号 同 上	新宿 一郎 新宿 二郎	0,000,000	
4	建物	新宿区西新宿一丁目2番3号 同 上	日本 太郎 日本 花子	000,000	
5	工作物	新宿区西新宿一丁目3番1号 同 上	東京 次郎	000,000	
6		新宿区西新宿一丁目3番3号 同 上	多摩 一男	0	被害なし
計		6 件	8名	円 0,000,000	

- (注) 1 共有物件（整理番号3・4）の対象者は、各々2名となる。
 2 被害なし物件（整理番号6）は、限度額が「0」となる。

(A4タテ)

No. **000000**

割印
受注者用

割印
東京都下水道局提出用

(補償 2 号 - 1 様式)

補償対象者用・1 枚目

(必ず、保管しておいてください。)

和解承諾書及び補償金請求書 (口座振込みによる支払用)

金 額		億	千	百	十	万	千	百	十	円
-----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

* 金額は必ず、自筆で記入してください。

- (注)
- 1 ボールペンで強く記入し、金額欄には¥を付けてください。
 - 2 金額欄の金額を必ず確認してから、押印してください。
 - 3 金額欄の訂正は、無効です。
 - 4 上記金額が 10 万円以上の場合には、印鑑登録証明書を添付してください。

東京都の発注した下水道工事に起因する、下記物件に対する損害補償については、頭書の金額をもって和解することを承諾し、頭書の金額を請求します。

なお、本件については、貴社及び東京都に対して、今後、一切異議を申しません。

記

- 1 工 事 件 名
- 2 物件所在地
- 3 物件の概要

年 月 日

住 所

氏 名

印

(* 住所及び氏名は、必ず自筆で記入し、ご自分で押印してください。)

(受注者)

殿

※ この和解承諾書及び補償金請求書は、補償対象者用 (1 枚目)、受注者用 (2 枚目)、東京都下水道局提出用 (3 枚目) の 3 枚綴りの複写式になっています。

なお、1 枚目の補償対象者用は、記入・押印後、必ず取って保管しておいてください。また、割印も必ず行ってください。割印の無いものは、無効です。2 枚目及び 3 枚目は、受注者にお渡しください。

割印

No. 000000

(補償2号-2様式)

受注者用・2枚目

和解承諾書及び補償金請求書 (口座振込みによる支払用)

金 額		億	千	百	十	万	千	百	十	円

* 金額は必ず、自筆で記入してください。

- (注)
- 1 ボールペンで強く記入し、金額欄には¥を付けてください。
 - 2 金額欄の金額を必ず確認してから、押印してください。
 - 3 金額欄の訂正は、無効です。
 - 4 上記金額が10万円以上の場合には、印鑑登録証明書を添付してください。

東京都の発注した下水道工事に起因する、下記物件に対する損害補償については、頭書の金額をもって和解することを承諾し、頭書の金額を請求します。

なお、本件については、貴社及び東京都に対して、今後、一切異議を申しません。

記

- 1 工 事 件 名
- 2 物件所在地
- 3 物件の概要

年 月 日

住 所

氏 名

印

(* 住所及び氏名は、必ず自筆で記入し、ご自分で押印してください。)

(受注者)

殿

補償対象者用

割印

No. **000000**

(補償2号-3様式)

東京都下水道局提出用・3枚目

和解承諾書及び補償金請求書 (口座振込みによる支払用)

金額		億	千	百	十	万	千	百	十	円
----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

* 金額は必ず、自筆で記入してください。

- (注)
- 1 ボールペンで強く記入し、金額欄には罫を付けてください。
 - 2 金額欄の金額を必ず確認してから、押印してください。
 - 3 金額欄の訂正は、無効です。
 - 4 上記金額が10万円以上の場合には、印鑑登録証明書を添付してください。

東京都の発注した下水道工事に起因する、下記物件に対する損害補償については、頭書の金額をもって和解することを承諾し、頭書の金額を請求します。

なお、本件については、貴社及び東京都に対して、今後、一切異議を申しません。

記

- 1 工事件名
- 2 物件所在地
- 3 物件の概要

年 月 日

住 所

氏 名

印

(* 住所及び氏名は、必ず自筆で記入し、ご自分で押印してください。)

(受注者)

殿

債務担当者
確認印

(補償4号様式)

口座振込依頼書

○年○月○日

下水道建設株式会社 殿

新宿区西新宿一丁目1番1号

東京 太郎 ㊞

私が、下水道建設株式会社から受領する補償金は、下記のとおり私の預金口座へ振込みしてください。

また、この振込みがなされたときは、その金額にかかる債権が消滅したものといたします。

振込先銀行	銀行 新宿 西新宿 支店 金庫								
金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
	¥	○	○	○	○	○	○	○	
預金の種類	普通 当座			口座 番号	00000000				
フリガナ	トウキョウ タロウ								
口座名義	東京 太郎				電話 (0000) 0000				

(注)

- 1 必ず、フリガナを記入してください。
- 2 必ず、ボールペンで記入してください。
- 3 住所、氏名、印鑑は、「和解承諾書及び補償金請求書」と同一にしてください。

(A4タテ)

No. **000000**

割印
受注者用

割印
東京都下水道局提出用

(補償3号の1-1様式)

補償対象者用・1枚目

(必ず、保管しておいてください。)

和解承諾書及び補償金請求書 (現金による支払用)

金 額		億	千	百	十	万	千	百	十	円

* 金額は必ず、自筆で記入してください。

- (注)
- 1 ボールペンで強く記入し、金額欄には¥を付けてください。
 - 2 金額欄の金額を必ず確認してから、押印してください。
 - 3 金額欄の訂正は、無効です。
 - 4 上記金額が10万円以上の場合には、印鑑登録証明書を添付してください。

東京都の発注した下水道工事に起因する、下記物件に対する損害補償については、頭書の金額をもって和解することを承諾し、頭書の金額を請求します。

なお、本件については、貴社及び東京都に対して、今後、一切異議を申しません。

記

- 1 工 事 件 名
- 2 物 件 所 在 地
- 3 物 件 の 概 要

年 月 日

住 所

氏 名

印

(* 住所及び氏名は、必ず自筆で記入し、ご自分で押印してください。)

(受注者)

殿

※ この和解承諾書及び補償金請求書は、補償対象者用(1枚目)、受注者用(2枚目)、東京都下水道局提出用(3枚目)の3枚綴りの複写式になっています。

なお、1枚目の補償対象者用は、記入・押印後、必ず取って保管しておいてください。また、割印も必ず行ってください。割印の無いものは、無効です。2枚目及び3枚目は、受注者にお渡ししてください。

和解承諾書及び補償金請求書
(現金による支払用)

金 額		億	千	百	十	万	千	百	十	円

* 金額は必ず、自筆で記入してください。

- (注)
- 1 ボールペンで強く記入し、金額欄には¥を付けてください。
 - 2 金額欄の金額を必ず確認してから、押印してください。
 - 3 金額欄の訂正は、無効です。
 - 4 上記金額が10万円以上の場合には、印鑑登録証明書を

東京都の発注した下水道工事に起因する、下記物件に対する損害補償については、頭書の金額をもって和解することを承諾し、頭書の金額を請求します。
なお、本件については、貴社及び東京都に対して、今後、一切異議を申しません。

記

- 1 工 事 件 名
- 2 物件所在地
- 3 物件の概要

年 月 日

住 所

氏 名

Ⓜ

(* 住所及び氏名は、必ず自筆で記入し、ご自分で押印してください。)

(受注者)

殿

和解承諾書及び補償金請求書 (現金による支払用)

金 額		億	千	百	十	万	千	百	十	円
-----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

* 金額は必ず、自筆で記入してください。

- (注)
- 1 ボールペンで強く記入し、金額欄には¥を付けてください。
 - 2 金額欄の金額を必ず確認してから、押印してください。
 - 3 金額欄の訂正は、無効です。
 - 4 上記金額が10万円以上の場合には、印鑑登録証明書を添付してください。

東京都の発注した下水道工事に起因する、下記物件に対する損害補償については、頭書の金額をもって和解することを承諾し、頭書の金額を請求します。
なお、本件については、貴社及び東京都に対して、今後、一切異議を申しません。

記

- 1 工 事 件 名
- 2 物 件 所 在 地
- 3 物 件 の 概 要

年 月 日

住 所

氏 名

(印)

(* 住所及び氏名は、必ず自筆で記入し、ご自分で押印してください。)

(受注者)

殿

債務担当者 確認印	
--------------	--

No. **000000**

割印
受注者用

割印
東京都下水道局提出用

(補償3号の2-1様式)

補償対象者用・1枚目

(必ず、保管しておいてください。)

補 償 金 領 収 書

(現金による支払用)

金 額		億	千	百	十	万	千	百	十	円
-----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

* 金額は必ず、自筆で記入してください。

- (注)
- 1 ボールペンで強く記入し、金額欄には¥を付けてください。
 - 2 金額欄の金額を必ず確認してから、押印してください。
 - 3 金額欄の訂正は、無効です。
 - 4 印鑑は「和解承諾書及び補償金請求書」に押印したものでお願いします。

(物 件 内 容)

- 1 工 事 件 名
- 2 物 件 所 在 地
- 3 物 件 の 概 要

下水道工事に伴う損害補償金である
上記金額を領収しました。

年 月 日

住 所

氏 名

印

(* 住所及び氏名は、必ず自筆で記入し、ご自分で押印してください。)

(受注者)

殿

※ この補償金領収書は、補償対象者用(1枚目)、受注者用(2枚目)、東京都下水道局提出用(3枚目)の3枚綴りの複写式になっています。

なお、1枚目の補償対象者用は、記入・押印後、必ず取って保管しておいてください。また、割印も必ず行ってください。割印の無いものは、無効です。2枚目及び3枚目は、受注者にお渡しください。

No. **000000**

受注者用・2枚目

補償金領収書

(現金による支払用)

金額		億	千	百	十	万	千	百	十	円

* 金額は必ず、自筆で記入してください。

- (注)
- 1 ボールペンで強く記入し、金額欄には¥を付けてください。
 - 2 金額欄の金額を必ず確認してから、押印してください。
 - 3 金額欄の訂正は、無効です。
 - 4 印鑑は「和解承諾書及び補償金請求書」に押印したものでお願いします。

(物件内容)

- 1 工事件名
- 2 物件所在地
- 3 物件の概要

下水道工事に伴う損害補償金である
上記金額を領収しました。

年 月 日

住 所

氏 名

印

(* 住所及び氏名は、必ず自筆で記入し、ご自分で押印してください。)

(受注者)

殿

補償対象者用

割印

(補償3号の2-3様式)

No. 000000

東京都下水道局提出用・3枚目

補償金領収書

(現金による支払用)

金額		億	千	百	十	万	千	百	十	円
----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

* 金額は必ず、自筆で記入してください。

- (注) 1 ボールペンで強く記入し、金額欄には¥を付けてください。
 2 金額欄の金額を必ず確認してから、押印してください。
 3 金額欄の訂正は、無効です。
 4 印鑑は「和解承諾書及び補償金請求書」に押印したものでお願いします。

(物件内容)

- 1 工事件名
- 2 物件所在地
- 3 物件の概要

下水道工事に伴う損害補償金である
上記金額を領収しました。

年 月 日

住 所

氏 名

印

(* 住所及び氏名は、必ず自筆で記入し、ご自分で押印してください。)

(受注者)

殿

債務担当者
確認印

請求書 (局負担分)

〇年〇月〇日

東京都公営企業管理者
下水道局長 〇〇〇〇 殿

東京都西新宿二丁目9番1号
下水道建設株式会社
代表取締役 下水道雄
登録番号 T

損害補償に関する貴局との協議書に基づき、別添資料を添えて貴局負担分として下記の金額を請求します。

	億	千	百	十	万	千	百	十	円
金額		¥	0	0	0	0	0	0	0

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ . -、税率 %)

※ 受注者氏名欄に記名の上、押印又は押印を省略する場合には以下を記載する。

[本書類を発行することができる権限を有する者]

役職：_____ 氏名：_____ 電話番号：_____

[事務担当者]

所属：_____ 役職：_____ 氏名：_____ 電話番号：_____

(都職員使用欄) 押印省略時の 本人確認日、確認方法及び確認者	年 月 日	<input type="checkbox"/> 対面 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> テレビ会議	(確認者氏名)
------------------------------------	-------	--	---------

- (注) 1 金額の頭に¥をつける。
 2 金額欄を訂正した場合は、無効とする。
 3 添付資料は、原本を添付する。(原本は確認後返却)
 4 適格請求書発行事業者である場合は、登録番号を記載し、「国税庁適格請求書発行事業者公表サイト」の画面印刷等を初回請求時に添付すること。非課税取引又は不課税取引のみを行った場合については、税率欄にその旨記載すること。

(A4タテ)

請 求 内 訳 書

整理 番号	補償対象者	補償限度額	補 償 金 額	局負担金額	振 込 手数料	備 考
		円	円	円	円	
1	東京 太郎	0,000,000	0,000,000	0,000,000	000	
2	下水工業(株) 取締役 下水 一	000,000	000,000	000,000	000	
3	新宿 一郎 新宿 二郎	0,000,000	0,000,000	0,000,000	000	
4	日本 太郎 日本 花子	000,000	000,000	000,000	000	
5	東京 次郎	000,000	000,000	000,000	000	
	小 計	0,000,000	0,000,000	0,000,000	0,000	
	振込手数料 (5 件)		0,000	0,000		
	事後調査費用		000,000	000,000		
	小 計		000,000	000,000		
	(うち消費税・税率 10%)		000,000	000,000		
	合 計		0,000,000	0,000,000		
(局負担率 ○○%)						

(注) 局負担金額算出式

- ①補償金額×局負担率
- ②補償金支払に要した振込手数料の合計額×局負担率
- ③事後調査費用×局負担率
- (①、②、③とも円未満切捨)

(A 4 タテ)

和解折衝報告書（第〇回）

〇年〇月〇日

東京都下水道局

△△△事務所長 〇〇〇〇 殿

下水道建設株式会社

補償事務担当者 江戸一郎

(〇〇〇〇) 〇〇〇〇

調査会社 (株) 下水設計

工事番号	〇〇〇〇第〇〇〇〇号		
工事 件名	新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事	着手	〇年〇月〇日
		完了	〇年〇月〇日
協議書 年月日	〇年〇月〇日付 (第1回) 〇年〇月〇日付 (第2回) 〇年〇月〇日付 (第3回) 〇年〇月〇日付 (第4回) 合計4件	和解済件数	
		4件	
		未和解件数	
		1件	

- (注) 1 この報告書は、土木工事標準仕様書第5章5.1.7第3項に従い未和解案件があるときは当局の求めに応じて提出しなければならない。
- 2 協議書交換後6ヶ月を過ぎてから、未和解案件については別紙「未和解物件一覧表」を添付する。

(A4タテ)

未和解物件一覧

整理 番号	補償対象者	補償限度額	被害者の主張・要求	最終折衝 年月日	備 考
			受注者の見解		
3	新宿 一郎 新宿 二郎	0,000,000	修復工法の相違 事後調査後被害が 進行した。	○. ○. ○○	

(A4タテ)

○年○月○日

東京都下水道局

△△△事務所長 ○○○○ 殿

受注者(住所) 東京都新宿区西新宿二丁目9番1号
(会社名) 下水道建設株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 下水 道雄 ㊟

事前調査資料のない物件の損害調査について

貴局発注の下記工事を当社において施行したところ、下記物件所有者から損害の賠償を請求されました。損害の発生について確認した結果、下水道工事と因果関係を有しているものと判断されるので損害調査について協議します。

記

工事年度 工事番号	○○○○ 第○○○○号	工 事 件 名	新宿区西新宿一、二丁目付 近再構築工事		工 期	○年○月○日から ○年○月○日まで		
物 件 所在地	所有者住所氏名	使用者	構造 面積	所 在 地 状 況				補償対象者(所有者) の主張 (損害内容等)
				側線からの 距 離	掘削深	地質	沈下 最大	
因果関係等に対する 受注者の見解								

(注)・添付資料 ①被害箇所案内図 ②当該家屋等に関する下水道工事の施行断面を添付する。

・上記の欄に記入しきれない場合は別紙を使用する。

○年○月○日

所長	○	○	○	○	○	○	○

(当局事務所の見解)

上記協議について、次のとおり決定する(いずれかの番号に○をつける。)

- 1 工事に起因する損害と判断されるので事後調査を行うことを認める。
- 2 認めない。

〈特記事項〉

- (注) 1 当局が損害調査を認定後、事後調査を行う。
2 事後調査に関する損害調書を当局に提出する際は、本書(写)を添付する。
(A4タテ)

○年○月○日

東京都下水道局

△△△事務所長 ○○○○ 殿

受注者 (住 所) 東京都新宿区西新宿二丁目 9 番 1 号
(会 社 名) 下水道建設株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 下水 道雄 ㊟

氏 名
補償対象者 変更届
住 所

○年○月○日付けで貴局と交換した協議書に基づき和解折衝した結果

下記のとおり補償対象者の 氏 名 の変更があったのでお届けします。
住 所

記

1 変更事項 (氏名・住所)

整理番号	変更後	変更前

2 変更理由 (具体的に)

(注) 変更理由は具体的に記入する。

(A 4 タテ)

第三者損害の現物補償に関する協議書

東京都と受注者 下水道建設株式会社とは、受注者が施行した〇〇〇〇第〇〇〇〇号新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に起因して発生した第三者損害のうち、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の被害について、損害認定の上、下記により現物補償を実施し、それぞれ負担することを協議し承諾したので、協議書を取り交す。

記

1 協議事項

- (1) 補償対象物件及び補償工事費限度額は、別紙明細書のとおりとする。

(消費税及び地方消費税相当分を含む。)

合計 〇 件 (〇 名) ¥〇, 〇〇〇, 〇〇〇. -

- (2) 事後調査費用は、¥〇〇〇, 〇〇〇. とする。
(3) 補償工事の工期は、施工承認に基づく期間とする。
(4) 補償工事費及び事後調査費用の負担割合は、

東京都 〇〇 %

受注者 〇〇 % とする。

- (5) 補償工事内容は、別添設計図書のとおりとする。

2 その他確認事項

- (1) 受注者は、当該物件管理者の施工承認を得て、設計図書に従い施工するものとする。
(2) 受注者は、工事完了後直ちに補償工事完了届を東京都に提出し、完了確認を受け取るものとする。
(3) 受注者は工事完了引渡し後、補償工事費及び事後調査費用のうち東京都負担分を請求するものとする。

なお、請求書には補修工事費の証拠書類を添付するものとする。

- (4) 東京都は受注者から請求があった日から起算して、30日以内に東京都負担分を支払わなければならない。
(5) この協議につき、定めのない事項及び変更すべき特段の事由のあるときは、別途協議するものとする。

東京都と受注者は、本書2通を作成し、それぞれ記名押印の上、各1通を保有する。

〇年〇月〇日

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都公営企業管理者

下水道局長 〇〇 〇〇 ㊟

受注者 東京都新宿区西新宿二丁目9番1号

下水道建設株式会社

代表取締役社長 下水 道雄 ㊟

(A4タテ)

協議書別紙明細書

整理 番号	補 償 物 件		補 償 対 象 者		補 償 工 事 限 度 額	備 考
	所 在 地	概 要	住 所	氏 名		
1	○○○○○○○○○○	○○小学校の 倉庫及び外構	○○○○○○○○○○	○○区長 ○○ ○○	(損害見積額+ 消費税相当額) ○,○○○,○○○	
計		1 件		1 名	(円) ○,○○○,○○○	

(注) 補償工事限度額とは、損害見積額と消費税相当額の合計とする。

○年○月○日

(補償対象者)

○○区長 ○○○○ 殿

受注者

(住 所) 東京都新宿区西新宿二丁目9番1号

(会社名) 下水道建設株式会社

(代表者名) 代表取締役社長 下水 道雄 ⑩

施工承認について

新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に起因して発生した貴所管の○○小学校の損害に関する補償工事を、下記のとおり施行したいので、ご承認をお願いします。

記

- 1 補償対象物件
所在地 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
概要 ○○小学校の倉庫及び外構
- 2 工 期 ○年○月○日～ ○年○月○日
- 3 補償工事内容 別添図面のとおり

上記のとおり承認する。

○年○月○日

(補償対象者)

住 所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

氏 名 ○○区長 ○○○○ ⑩

(注) 補償対象者指定の書式がある場合は、それによることが出来る。

(A4タテ)

補償工事完了届

下記のとおり完了しましたのでお届けします。

- 1 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事の施行に起因する現物補償
- 2 補償工事物件 ○○小学校 倉庫及び外構
- 3 協議年月日 ○年○月○日
- 4 着手年月日 ○年○月○日
- 5 完了年月日 ○年○月○日
- 6 補償工事費限度額 ¥○, 〇〇〇, 〇〇〇. -
(消費税相当額を含む金額)
- 7 補償工事費 ¥○, 〇〇〇, 〇〇〇. -

○年○月○日

東京都公営企業管理者
下水道局長 ○○ ○○ 殿

受注者(住所) 東京都新宿区西新宿二丁目9番1号
(会社名) 下水道建設株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 下水 道雄

(注) 完了図を添付する。

(A4タテ)

○ 下 ○ ○ 庶 第 ○ ○ 号
○ 年 ○ 月 ○ 日

(補償対象者)

○○区長 ○○ ○○ 殿

東京都下水道局

△△△事務所長 ○○ ○○ 印

補償工事の完了に伴う引渡しについて

新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事に起因して発生した貴所管○○小学校の損害に関する補償工事が下記のとおり完了したのでお引渡しします。

なお、本件に関してご異存がなければ別紙受領書に押印の上、ご返送願います。

記

1 補償対象物件

所在地 ○○○○○○○○○○○○○○

概要 ○○小学校の倉庫及び外構

2 補償工事完了年月日

○年○月○日

3 補償工事内容

別添図面のとおり

(A4タテ)

○年○月○日

東京都△△△事務所長 ○○ ○○ 殿

(補償対象者)

住 所 ○○○○○○○○○○○

氏 名 ○○区長 ○○ ○○ 印

受 領 書

さきに、補償工事の完了に伴い貴局から引渡しのあった下記物件について、これを受領します。

なお、本件については、貴局に対して今後、一切異議を申しません。

記

1 補 償 対 象 物 件

所 在 地 ○○○○○○○○○○○

名 称 ○○区立○○小学校

2 補 償 工 事 内 容

別添図面のとおり

(注) 補償対象者指定の書式がある場合は、それによる事が出来る。

(A4タテ)

〇 年 〇 月 〇 日
下水道建設株式会社

下水道工事のお知らせ

下水道工事の施行につきましては、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、このたび東京都下水道局の発注による「〇〇区〇〇一丁目付近再構築工事」
が着工のはこびとなり、この工事を当社において、施行することになりました。工
事の施行に際しては、住民の皆さまに被害が及ばないように最善の努力と細心の注
意を払いながら工事を進めて参りますので、よろしくお願ひします。

(問合せ先)

受注者(会社名)	下水道建設株式会社
(住所)	新宿区西新宿二丁目9番1号
(電話番号)	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
(担当者名)	〇〇〇〇
(調査会社)	株式会社下水設計(担当; 〇〇〇〇)
発注者(所管事務所)	東京都下水道局△△△事務所〇〇課〇〇担当
(所在地)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
(電話番号)	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

地盤等の関係で万が一、家屋等に損害が発生した場合には、裏面「補償事務の流れ」に従いまして、誠意をもって対応させていただきます。その際に損害補償を公正に行うため、工事施行前に家屋等の現況調査をさせていただく必要がありますので、ご協力をお願いいたします。

なお、日程等詳細につきましては、後日改めてご連絡させていただきます。

(注) 「補償事務の流れ」を裏面(別紙)に印刷し、一緒に配布する。

下水道工事施行前の家屋調査のお知らせ

下水道工事の施行につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
先日、下水道工事のお知らせを配布させていただきましたが、工事の着工前に皆様方の家屋調査をさせて頂きたく、お知らせします。

家屋調査の目的は、工事期間中に万一家屋等に損傷が生じた場合に損害補償を公正に行うため、工事施行前の家屋等の現況調査を実施し、工事完了後の調査と対比して、本工事との因果関係を判断するための資料の収集です。「補償事務の流れ」は、裏面をご参照ください。

なお、本調査に関する金銭等の請求は一切ありません。

後日、調査員が家屋調査の日時につきまして、ご都合をお伺いいたしますので、ご希望される日時をお伝えください。

お忙しい中ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願い申し上げます。

記

- | | | |
|---|-------------|---|
| 1 | 工事件名 | 新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事 |
| 2 | 調査期間 | ○年○月中旬～ ○年○月中旬 |
| 3 | 調査内容 | 1) 家屋平面図
2) 家屋内外等の写真撮影
3) 柱・建具等の傾斜測定
4) 基礎の状態等 |
| 4 | 下水道局
担当者 | 東京都下水道局△△△事務所 ○○課 ○○担当
所在地：○○○○○○○○○○○ 電話番号：○○○○-○○○○
担当者：○○ ○○ |
| 5 | 施工会社 | 下水道建設株式会社
電話番号：○○○○-○○○○
担当者：○○ ○○ |
| 6 | 調査会社 | 株式会社下水設計
電話番号：○○○○-○○○○
担当者：○○ ○○ |

* 調査に関しましてのご質問等は、下水道局、調査会社、施工会社の担当者までご連絡頂ければ幸いです。

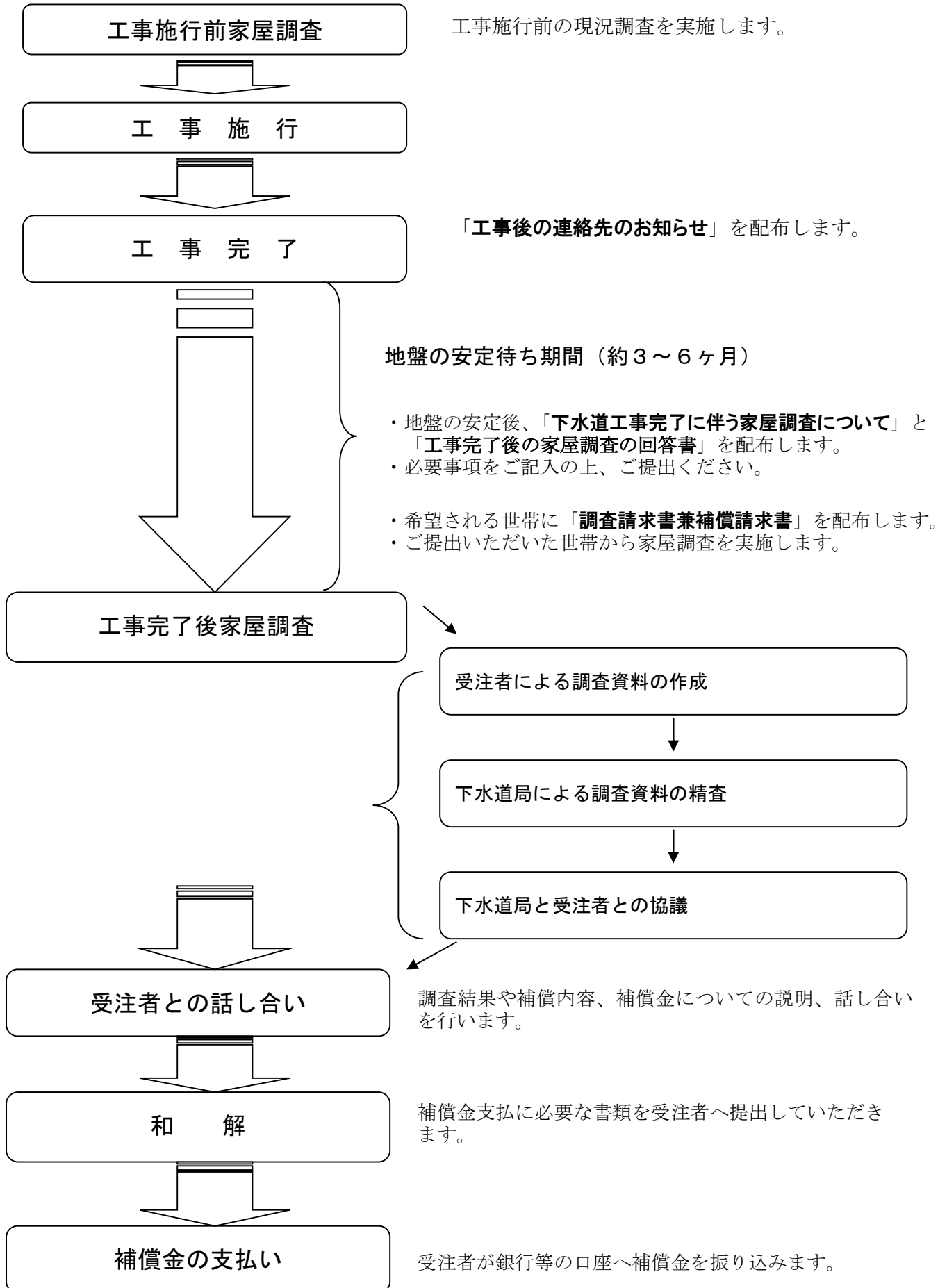
個人情報について

- 1 家屋調査の目的は、工事期間中に万一家屋等に損傷が生じた場合、本工事との因果関係を判断するために、資料を収集するものです。
- 2 家屋調査した資料は、上記目的以外に利用及び第三者に提供することはありません。
- 3 家屋調査した資料の漏えい、滅失、き損等の防止のため、必要な保護措置を講じ適切に管理いたします。

東京都下水道局△△△事務所

(注)「補償事務の流れ」を裏面に印刷し、配布する。

補償事務の流れ



○年○月○日

下水道建設株式会社

工事後の連絡先のお知らせ

下水道工事の施行につきましては、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東京都下水道局の発注した「新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事」がこのたび完了しましたので、○年○月○日をもって、○○区○○一丁目○番○号に所在しておりました現場作業所を撤去することになりました。

地盤等の関係で万が一、下水道工事に起因して家屋等に損害が発生した場合は、当社までご連絡ください。

損害調査につきましては、裏面の「補償事務の流れ」にそって ○年○月○日頃から行う予定でございますので、ご了承ください。

今回の工事に関する問合せなどの連絡は、今後、下記のところでお受けすることになりますので、お知らせします。

記

連絡先 (受注者名) 下水道建設株式会社
(担当者名) ○○部 ○○ ○○
(所在地) 東京都新宿区西新宿二丁目9番1号
(電話番号) ○○-○○○○-○○○○

なお、この工事を所管する東京都下水道局の事務所は、

(事務所名) △△△事務所 ○○課 ○○担当
(所在地) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(電話番号) ○○-○○○○-○○○○

(注) 「補償事務の流れ」を裏面に印刷し、受注者が事前調査を行った全世帯へ配布する。

折 衝 記 録

(受注者用)

物 件 所 在 地						
所有者住所氏名電話番号						
使用者氏名電話番号						
工 事 件 名						
工 期						
折衝日時	折衝相手氏名	折衝方法	折衝場所	折衝内容	本記録者	局への報告先
	・所有者 ・使用者 ・上記代理人 ()	・対面 ・電話 ・書面 ・その他 ()	・所有者宅 ・使用者宅 ・当 所 ・下水道局 ()			
	・所有者 ・使用者 ・上記代理人 ()	・対面 ・電話 ・書面 ・その他 ()	・所有者宅 ・使用者宅 ・当 所 ・下水道局 ()			
	・所有者 ・使用者 ・上記代理人 ()	・対面 ・電話 ・書面 ・その他 ()	・所有者宅 ・使用者宅 ・当 所 ・下水道局 ()			
	・所有者 ・使用者 ・上記代理人 ()	・対面 ・電話 ・書面 ・その他 ()	・所有者宅 ・使用者宅 ・当 所 ・下水道局 ()			
	・所有者 ・使用者 ・上記代理人 ()	・対面 ・電話 ・書面 ・その他 ()	・所有者宅 ・使用者宅 ・当 所 ・下水道局 ()			

注 意 ① 折衝日時欄は、時間も記入する。

② 折衝相手氏名、折衝方法、折衝場所欄は、該当する項目に○印を付ける。

③ 折衝相手氏名欄の上記代理人(カッコ)は、氏名を記入する。

④ 折衝方法欄で書面の場合には原本または写しを添付し、その他の場合にはカッコに詳細を記入する。

⑤ 記載者欄は、所属(課、係)と氏名を記入する。

⑥ 局に報告を行った場合は、局への報告先欄に所属(課、担当)と氏名を記入する。

(A4タテ)

この手引は、令和5年4月1日から施行する。

「損害補償実務の手引」及び「下水道局損害補償調査作業基準」の施行についての経過は次のとおりである。

1 損害補償実務の手引

- | | | | | | |
|------|-------|-------|--|------|--------------|
| (1) | 昭和52年 | 4月 | | 作成 | |
| (2) | 昭和55年 | 4月 | | 改正 | |
| (3) | 昭和62年 | 4月 | | 全部改正 | |
| (4) | 昭和63年 | 4月15日 | | 一部改正 | (63下建管第39号) |
| (5) | 平成元年 | 4月1日 | | 一部改正 | (63下建管第612号) |
| (6) | 平成2年 | 8月1日 | | 一部改正 | (2下建管第270号) |
| (7) | 平成5年 | 4月1日 | | 一部改正 | (4下管建管第510号) |
| (8) | 平成7年 | 11月1日 | | 一部改正 | (7下管建管第264号) |
| (9) | 平成8年 | 4月1日 | | 全部改正 | (7下管建管第520号) |
| (10) | 平成12年 | 4月1日 | | 一部改正 | (11下建管第565号) |
| (11) | 平成14年 | 12月1日 | | 一部改正 | (14下建管第455号) |
| (12) | 平成15年 | 4月1日 | | 一部改正 | (15下建管第128号) |
| (13) | 平成18年 | 4月1日 | | 一部改正 | (17下建管第602号) |
| (14) | 平成22年 | 9月1日 | | 一部改正 | (22下建管第304号) |
| (15) | 平成24年 | 4月1日 | | 一部改正 | (23下建管第641号) |
| (16) | 平成29年 | 4月1日 | | 一部改正 | (28下建管第320号) |
| (17) | 令和3年 | 4月1日 | | 一部改正 | (2下建管第619号) |
| (18) | 令和4年 | 4月1日 | | 一部改正 | (3下建管第629号) |
| (19) | 令和5年 | 4月1日 | | 一部改正 | (4下建管第539号) |

2 下水道局損害補償調査作業基準

- | | | | | | |
|-----|-------|-------|--|------|--------------|
| (1) | 昭和55年 | 4月1日 | | 制定 | (55下建管第28号) |
| (2) | 昭和58年 | 9月1日 | | 全部改正 | (58下建管第222号) |
| (3) | 昭和59年 | 1月5日 | | 一部改正 | (58下建管第401号) |
| (4) | 昭和62年 | 4月15日 | | 全部改正 | (62下建管第31号) |
| (5) | 平成元年 | 8月1日 | | 一部改正 | (元下建管第260号) |
| (6) | 平成2年 | 8月1日 | | 一部改正 | (2下建管第270号) |
| (7) | 平成5年 | 4月1日 | | 一部改正 | (4下管建管第509号) |
| (8) | 平成8年 | 4月1日 | | 廃止 | (7下管建管第520号) |